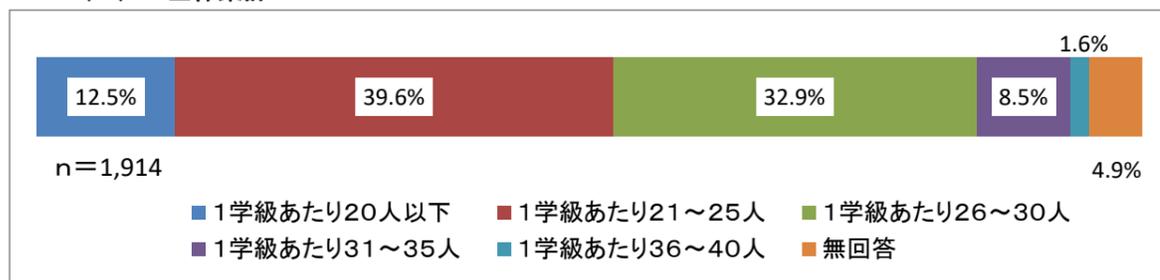


小学校に関する調査結果

1 小学校の1学級あたりの児童数は、何人が望ましいと思いますか（1つ選択）

1-（1）全体集計

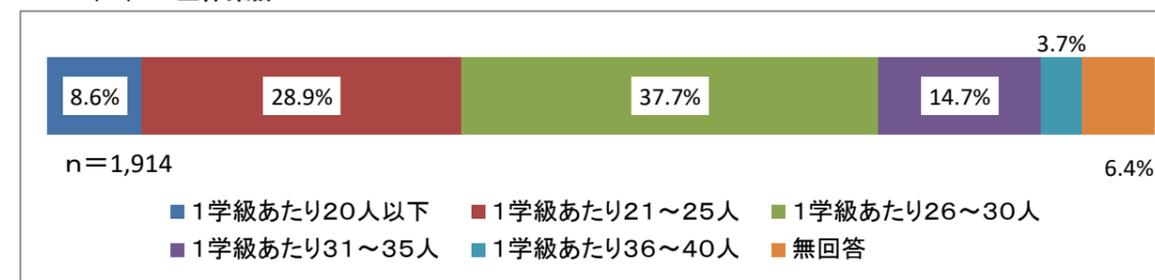


小学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全体集計では「1学級あたり21～25人」が最も多い回答になっている。次いで「1学級あたり26～30人」の回答が多い。回答の多い「1学級あたり21～25人」「1学級あたり26～30人」の割合は72.5ポイントを占めている。

中学校に関する調査結果

6 中学校の1学級あたりの生徒数は、何人が望ましいと思いますか（1つ選択）

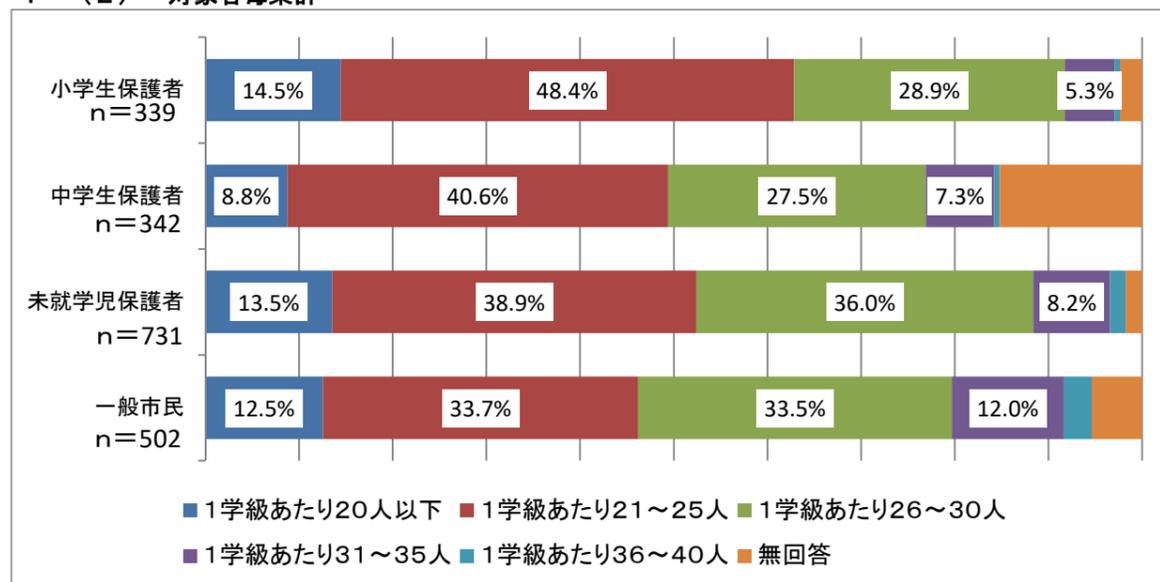
6-（1）全体集計



中学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全体集計では「1学級あたり26～30人」が最も多い回答になっている。次いで「1学級あたり21～25人」の回答が多い。回答の多い「1学級あたり21～25人」「1学級あたり26～30人」の割合は66.6ポイントを占めている。

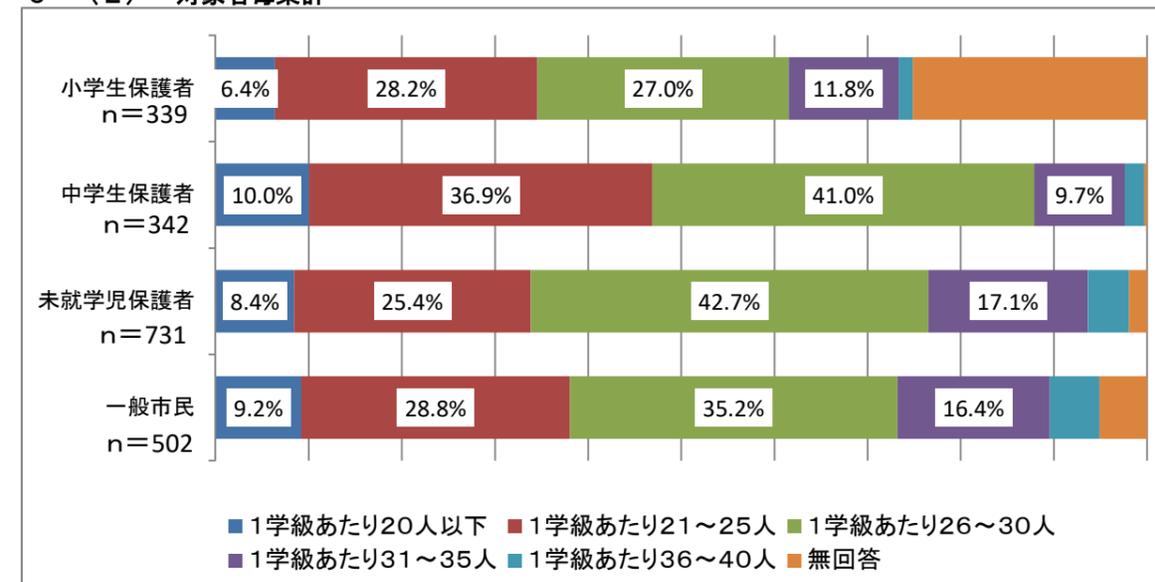
①小学校は「21～25人」、「26～30人」、中学校は「26～30人」、「21～25人」の順で回答が多い。
②また、小学校では少人数である「20人以下」が12.5ポイント、中学校では大人数である「31～35人」14.7ポイントと比較的多く回答されている。

1-（2）対象者毎集計



小学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全ての調査対象で「1学級あたり21～25人」が最も多い回答になっている。また未就学児保護者及び一般市民は、「1学級あたり26～30人」の回答も多い。回答の多い「1学級あたり21～25人」「1学級あたり26～30人」の割合は、小学生保護者77.3ポイント、中学生保護者68.1ポイント、未就学児保護者74.9ポイント、一般市民67.2ポイントをそれぞれ占めている。

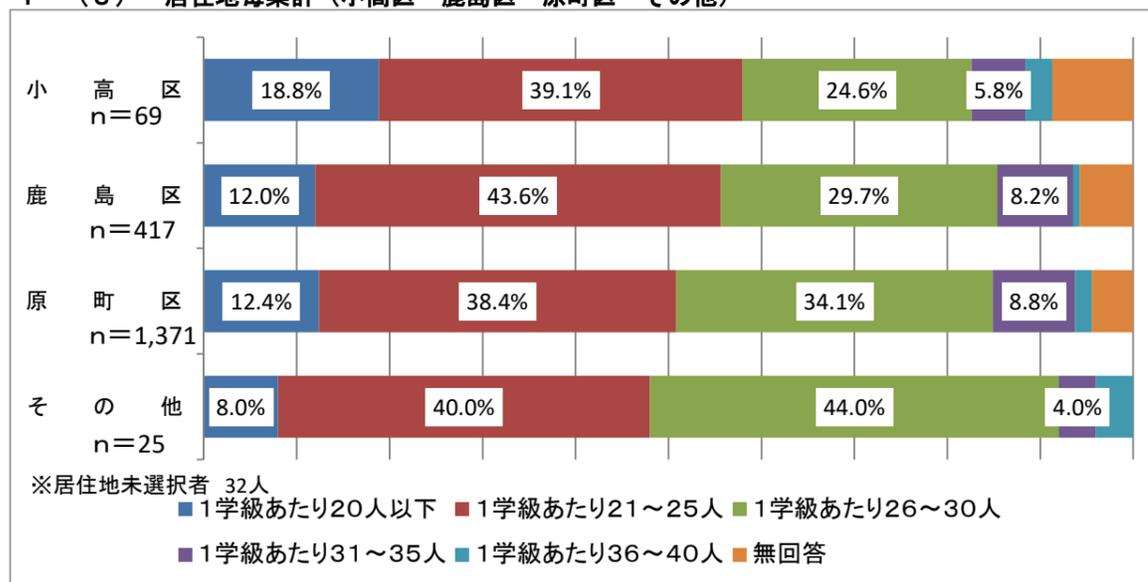
6-（2）対象者毎集計



中学校の1学級あたりの望ましい児童数については、小学生保護者で「1学級あたり21～25人」が最も多い回答になっている一方で、中学生保護者及び未就学児保護者、一般市民は、「1学級あたり26～30人」の回答も多い。回答の多い「1学級あたり21～25人」「1学級あたり26～30人」の割合は、小学生保護者55.2ポイント、中学生保護者77.9ポイント、未就学児保護者68.1ポイント、一般市民64.0ポイントをそれぞれ占めている。

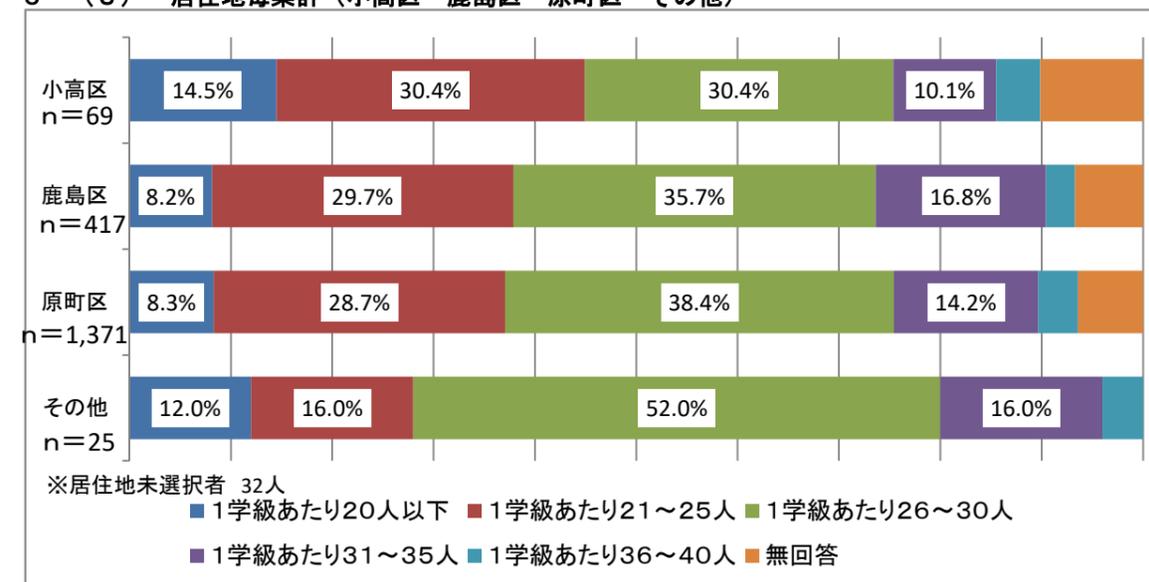
①小学校は、全ての調査対象で「21～25人」、「26～30人」、中学校は小学生保護者以外は「26～30人」「21～25人」の順であり、小学生保護者は小学校と同じ傾向であった。
②中学校で、「31～35人」と回答した未就学児保護者、一般市民は顕著に多かった。

1-(3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



小学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全ての居住地で「1学級あたり21~25人」が最も多い回答になっている。小高区では「1学級あたり20人以下」、原町区では「1学級あたり26~30人」の回答も多い。
 回答の多い「1学級あたり21~25人」「1学級あたり26人~30人」の割合は、鹿島区73.3ポイント、原町区72.5ポイントと7割を超えた一方、小高区では63.7ポイントと7割未満となっている。

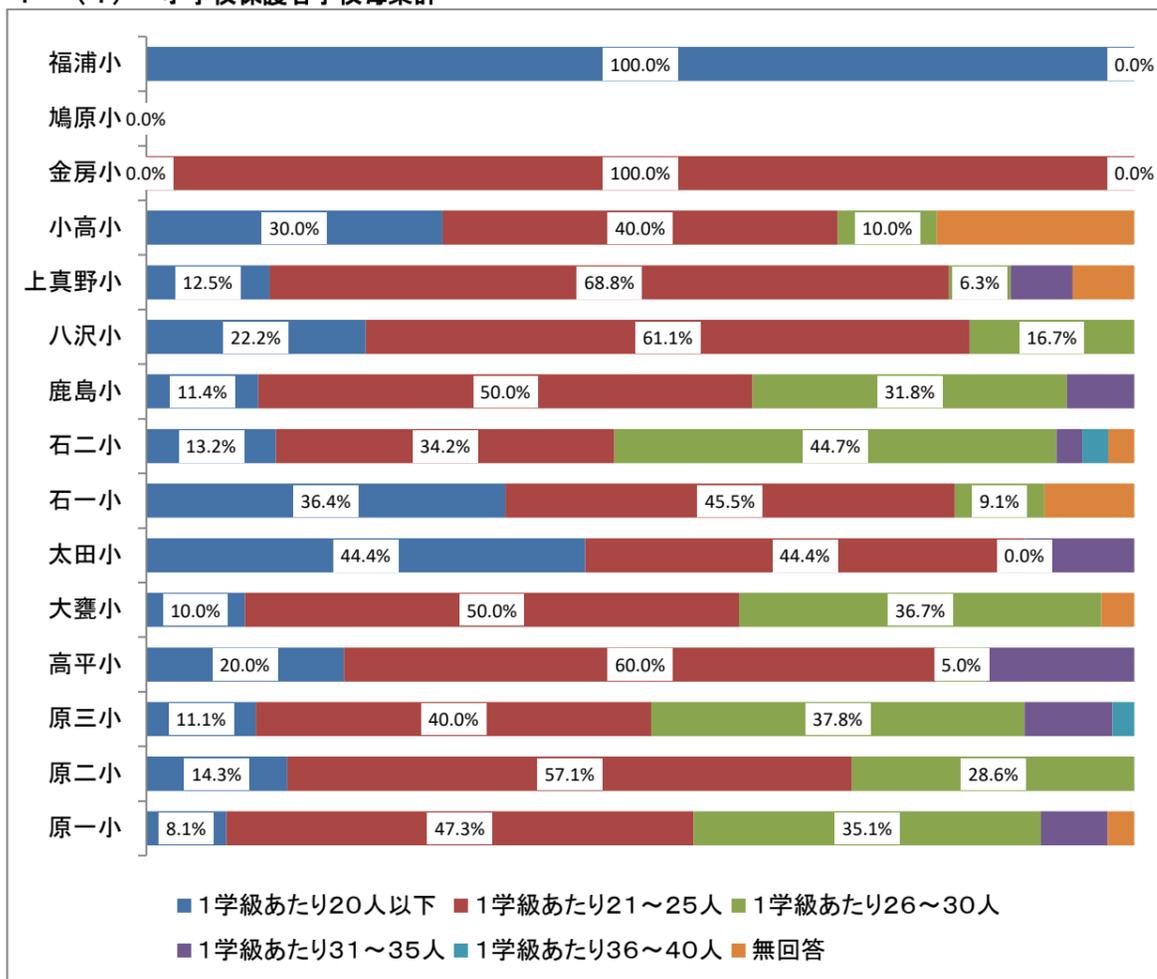
6-(3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



中学校の1学級あたりの望ましい児童数については、全ての居住地で「1学級あたり26~30人」が最も多い回答になっているが、小高区では「1学級あたり21~25人」の回答も同率で最も多い回答となっている。
 回答の多い「1学級あたり21~25人」「1学級あたり26人~30人」の割合は、小高区60.8ポイント、鹿島区65.4ポイント、原町区67.1ポイントとなっている。

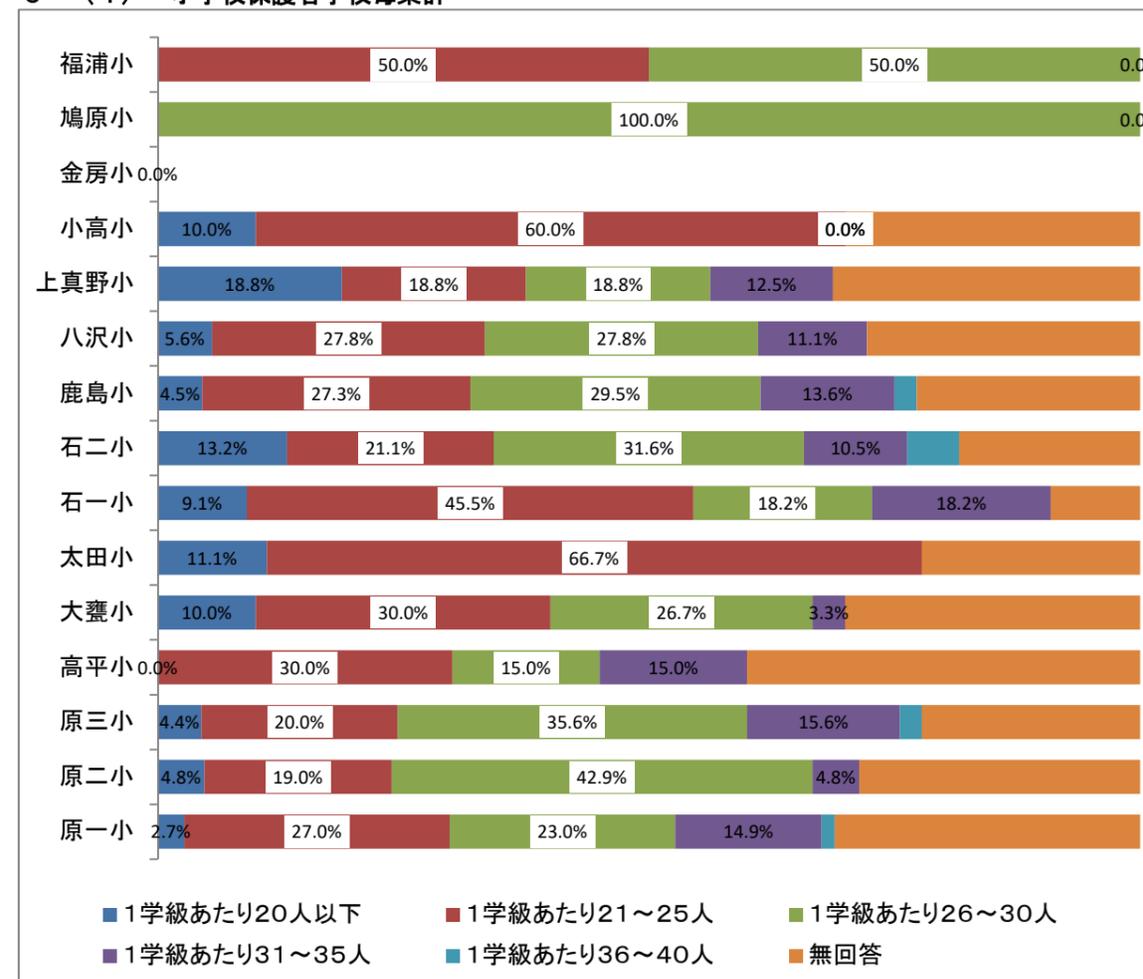
- ①小学校は、全ての区で「21~25人」「26~30人」、中学校は、「26~30人」「21~25人」(小高区は同ポイント)の順であった。
- ②小高区の居住者は、小中学校とも「20人以下」を回答した割合が、他の地区より比較的多かった。

1-(4) 小学校保護者学校毎集計



小学校の1学級あたりの望ましい児童数について、小学生保護者の学校別での回答は、全体的に「1学級あたり21~25人」の回答が多くなっているが、児童数が少ない学校(100人以下)である、「石一小」「太田小」で「1学級あたり20人以下」の回答も多い。また、児童数多い学校(200人以上)である、「鹿島小」「石二小」「原三小」「原一小」で「1学級あたり26~30人」の回答が多い一方で、児童数が比較的少ない学校(200人以下)である「大甕小」も「1学級あたり26~30人」の回答が多い。

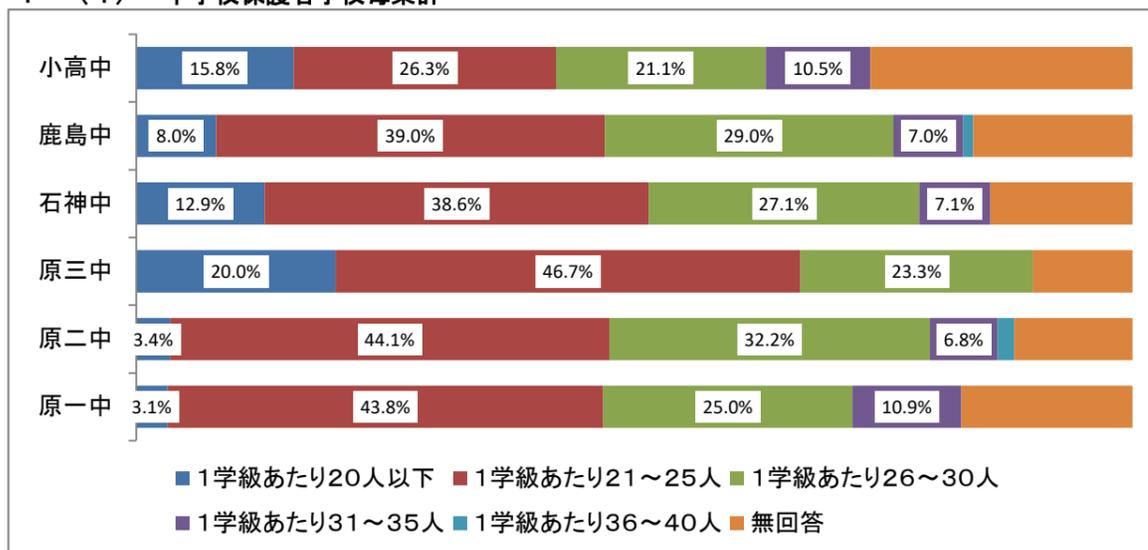
6-(4) 小学校保護者学校毎集計



中学校の1学級あたりの望ましい生徒数について、小学生保護者の学校別での回答は、全体的に「1学級あたり21~25人」と「1学級あたり26~30人」の回答が多くなっているが、児童数が少ない学校(100人以下)である、「石一小」「太田小」で「1学級あたり21~25人以下」を回答した割合が比較的多い。また、児童数多い学校(200人以上)である、「鹿島小」「石二小」「原三小」「原一小」で「1学級あたり31~35人」の回答が多い。

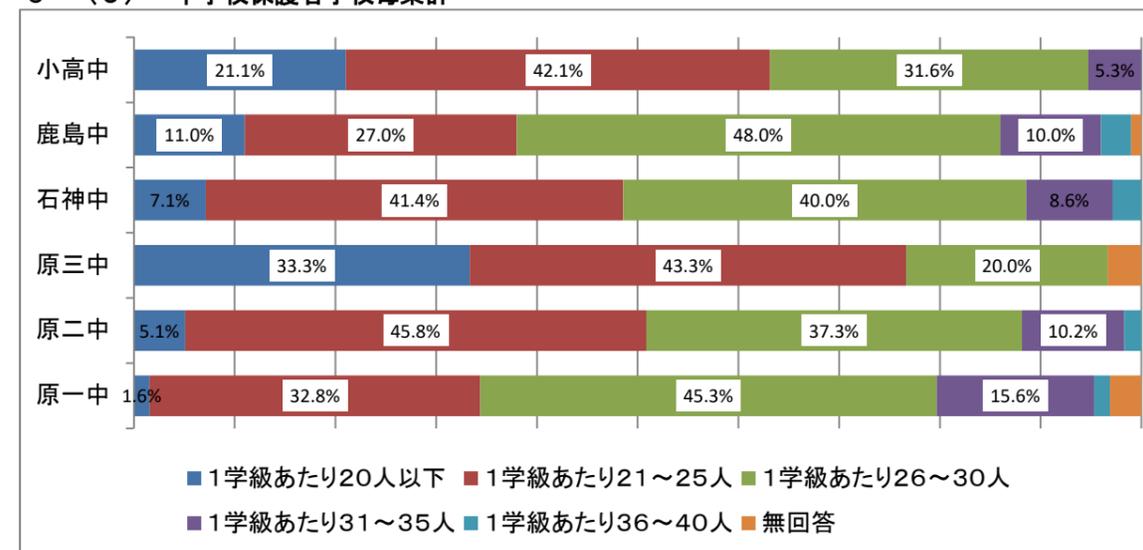
- ①小学校は、学校規模が大きい学校の保護者ほど「26~30人」、小さいほど「20人以下」の回答が多くなっている。
- ②中学校は、学校規模が大きい学校の保護者ほど「26~30人」、小さいほど「21~25人」の回答が多くなっている。
- ③中学校では、規模の小さい「上真野小」「八沢小」「石一小」「高平小」で「31~35人」の回答が比較的多くなっている。

1- (4) 中学校保護者学校毎集計



小学校の1学級あたりの望ましい児童数については、中学生保護者の学校別で、全ての学校で「1学級あたり21～25人」が最も多い回答になっている。次いで「1学級あたり26～30人」の回答も多い。また、生徒数の少ない学校(100人以下)である「小高中」「原三中」では、「1学級あたり20人以下」の回答が比較的多くなっている。

6- (5) 中学校保護者学校毎集計

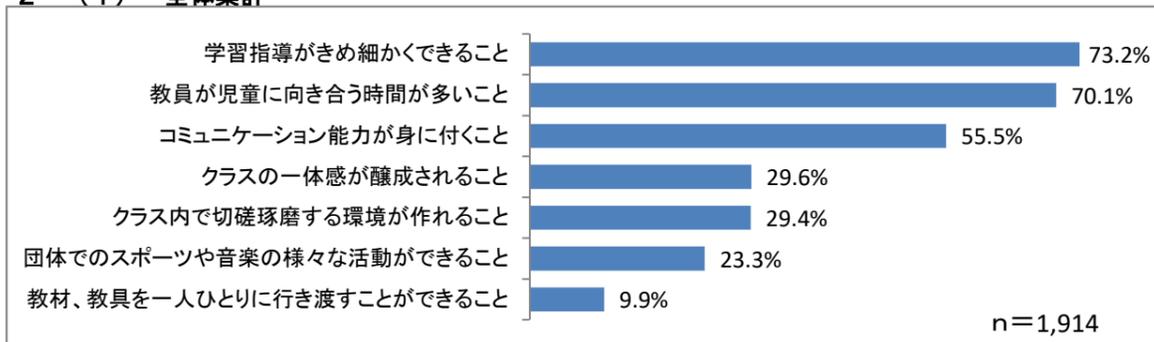


中学校の1学級あたりの望ましい生徒数については、全体的に「1学級あたり21～25人」と「1学級あたり26～30人」の回答が多くなっているが、生徒数の多い学校(200人以上)である「鹿島中」「石神中」「原一中」で「1学級あたり26～30人」の回答が4割を超えている。また、生徒数の少ない学校(100人以下)である「小高中」「原三中」では、「1学級あたり20人以下」の回答が比較的多くなっている。

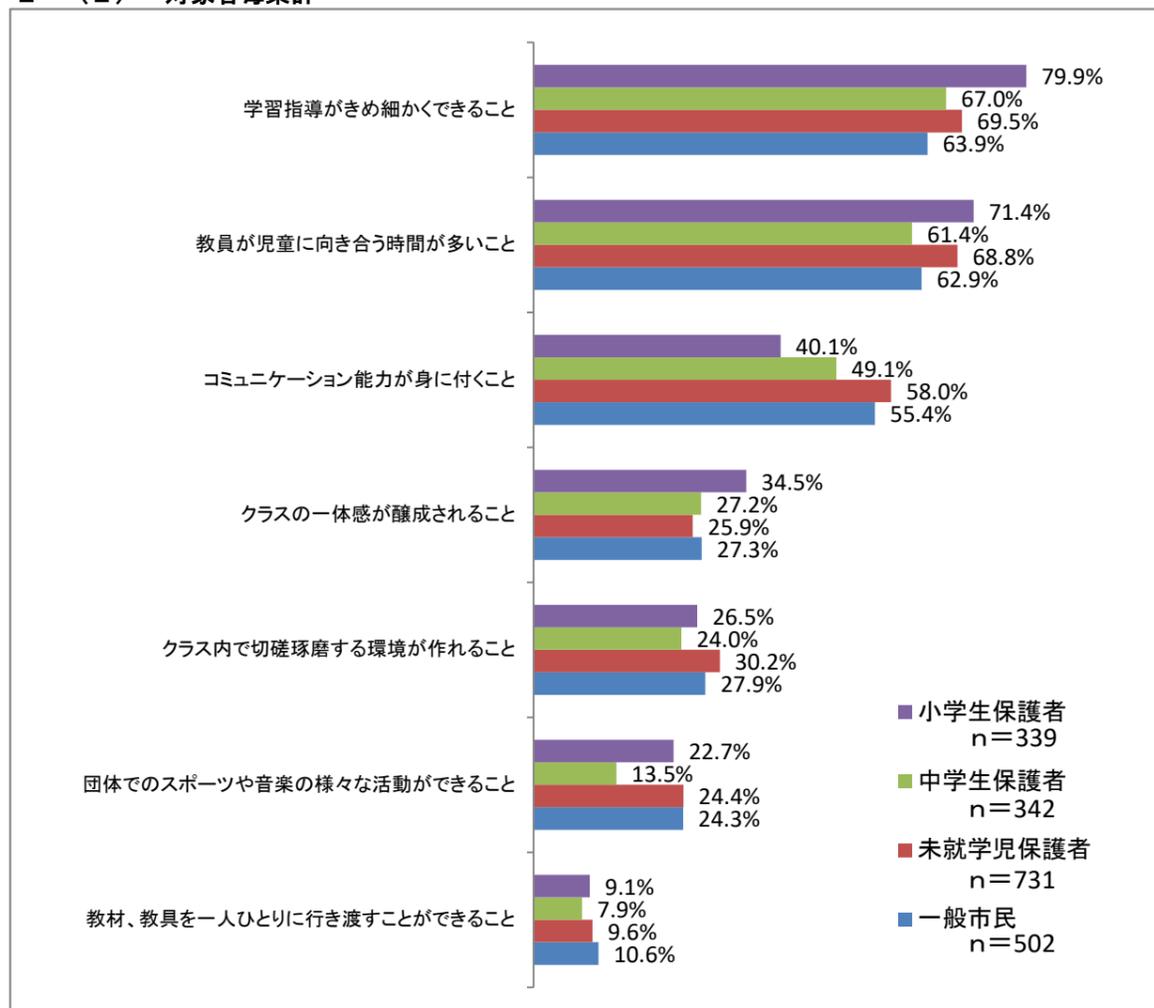
- ①小学校は、全ての学校の保護者が「21～25人」「26～30人」の順で回答が多くなっている。
- ②中学校は、学校規模が大きい学校の保護者ほど「26～30人」、小さいほど「21～25人」の回答が多くなっている。
- ③中学校では、「20人以下」と回答した規模の小さい「小高中」「原三中」で比較的多くなっている。

2 小学校の学級人数を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）

2-（1）全体集計



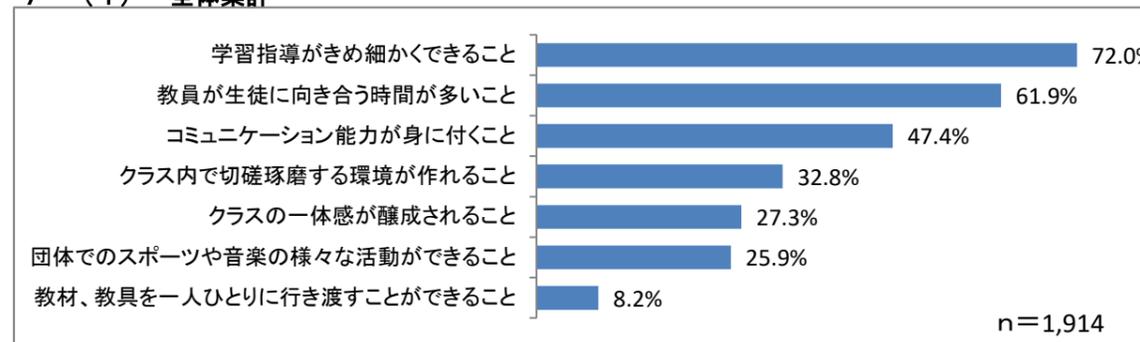
2-（2）対象者毎集計



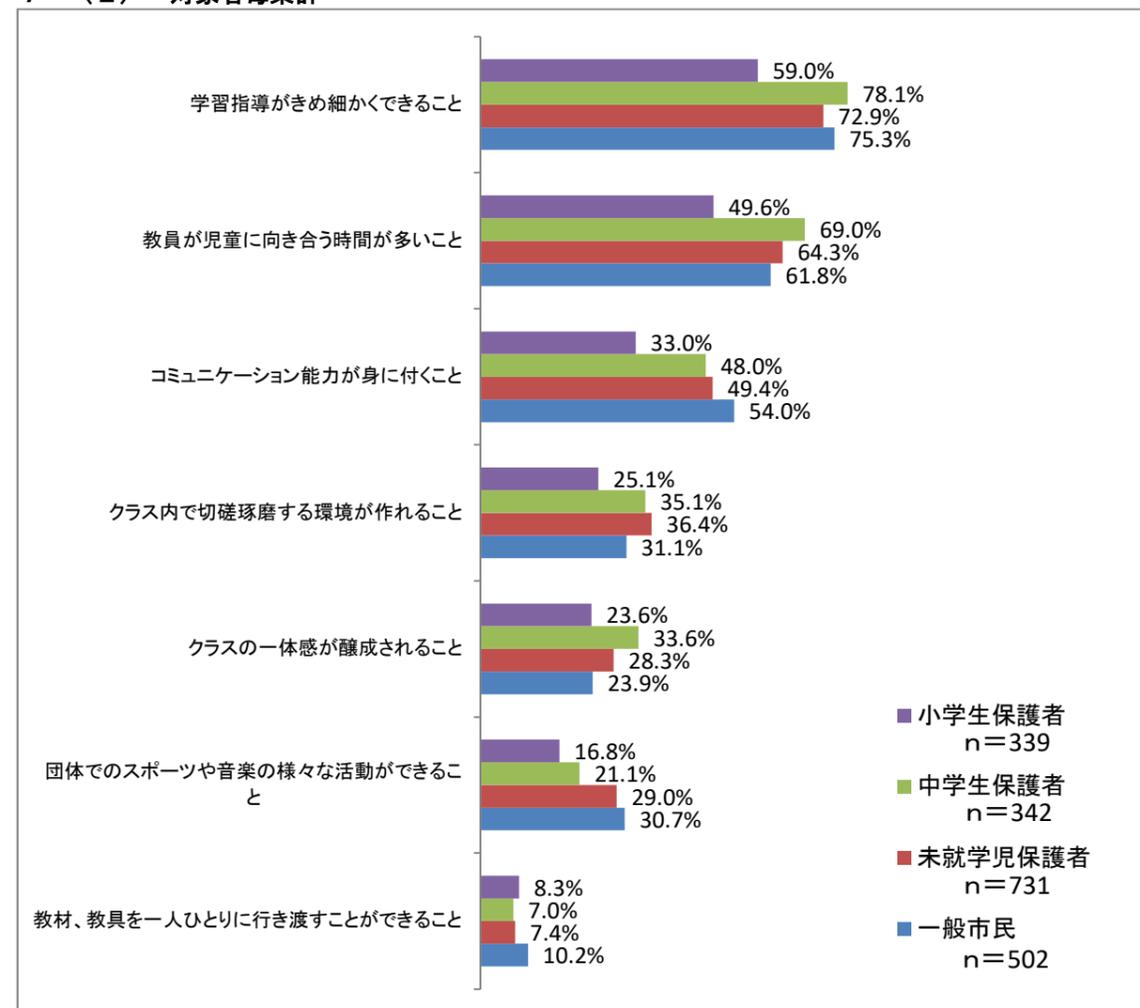
小学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、全ての対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身に付くこと」の順で回答が多くなっている。
特に、小学生保護者の回答では「学習指導がきめ細かくできること」が79.9ポイント、「教員が児童に向き合う時間が多いこと」が71.4ポイントと多くなっている。
また、「コミュニケーション能力が身に付くこと」を回答した割合は、小学生保護者と中学生保護者が5割以下である一方で、未就学児保護者と一般市民は5割を超えている。

7 中学校の学級人数を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）

7-（1）全体集計

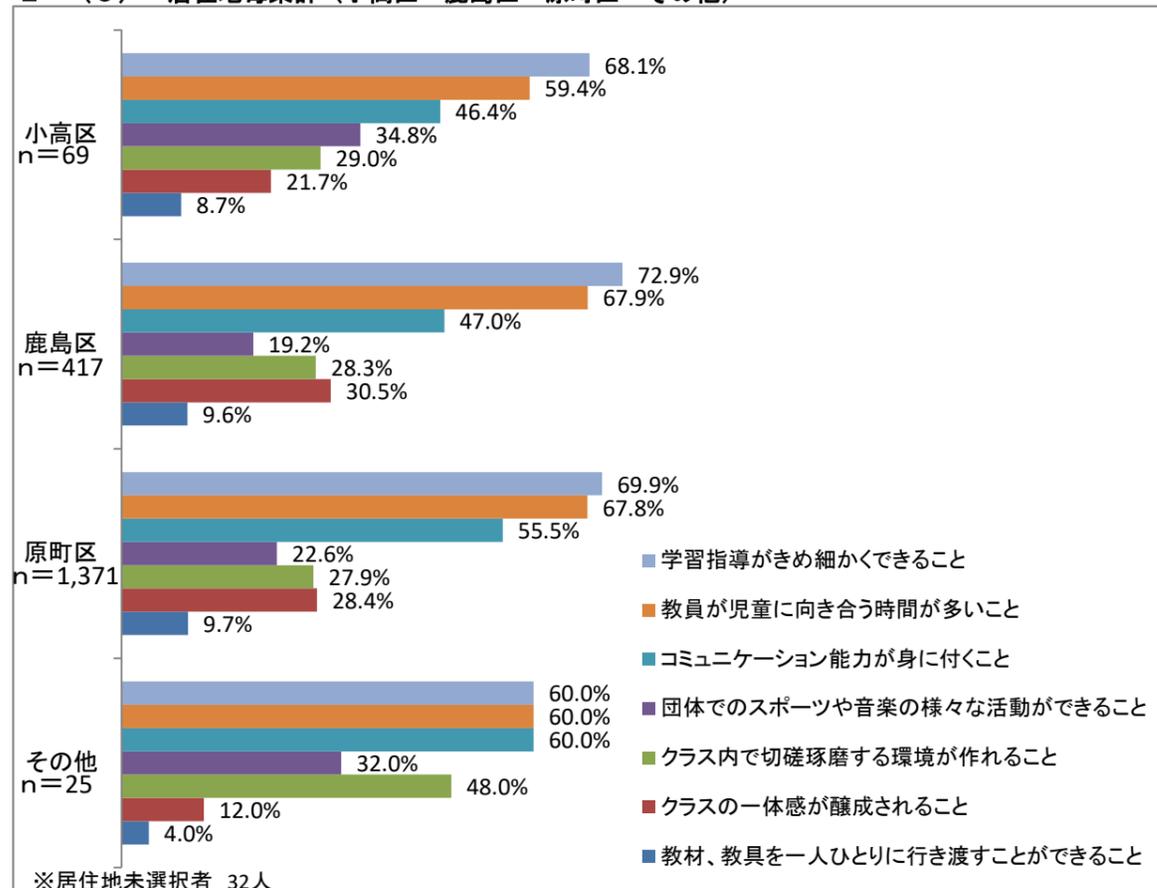


7-（2）対象者毎集計



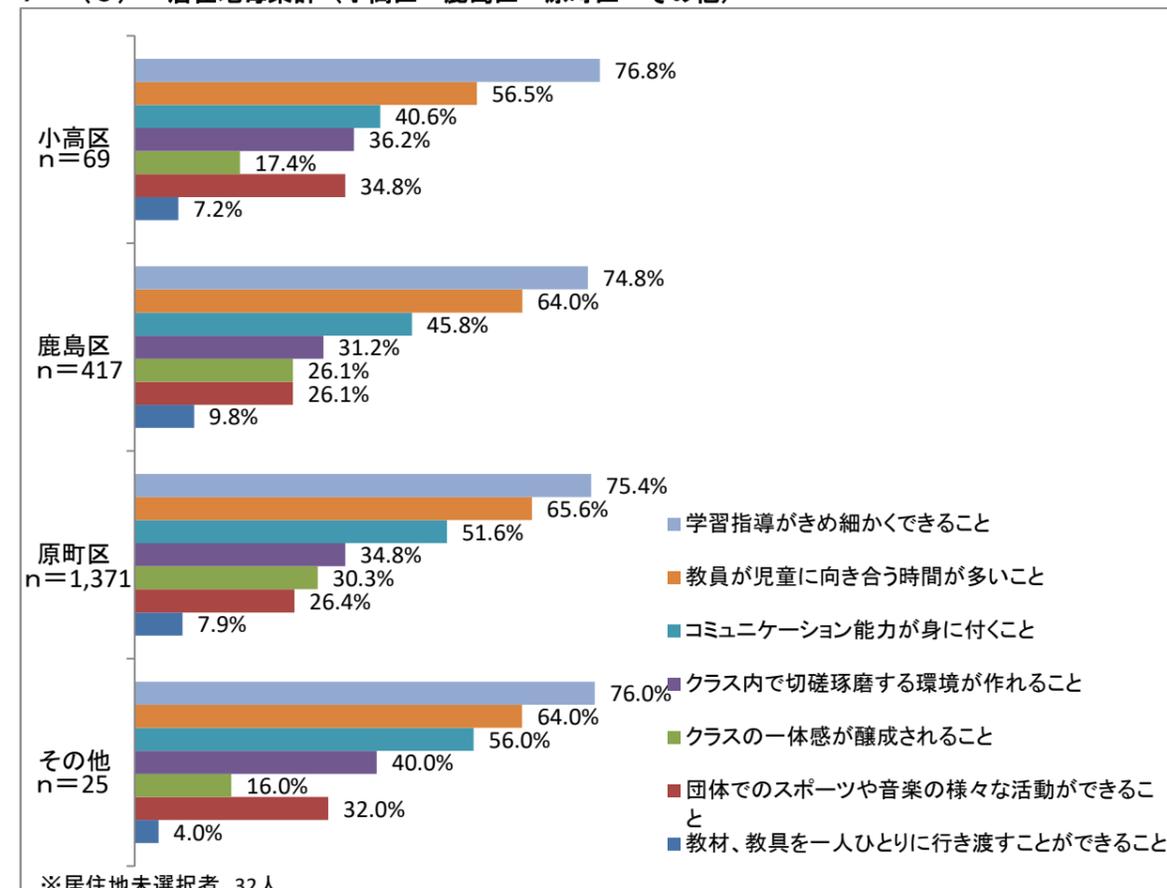
中学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、全ての対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身に付くこと」の順で回答が多くなっている。
特に、中学生保護者の回答では「学習指導がきめ細かくできること」が78.1ポイント、「教員が児童に向き合う時間が多いこと」が69.0ポイントと多くなっている。
また、「コミュニケーション能力が身に付くこと」を回答した割合は、小中学生保護者と未就学児保護者が5割以下である一方で、一般市民は5割を超えている。

2-(3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



小学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、居住地別での回答も、全ての対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身に付くこと」の順で回答が多くなっている。
小高区と鹿島区で「コミュニケーション能力が身に付くこと」が5割以下となっている一方で、原町区では55.5ポイントとなっている。
鹿島区と原町区で「団体でのスポーツや音楽の様々な活動ができること」が3割以下となっている一方で、小高区では34.8ポイントとなっている。

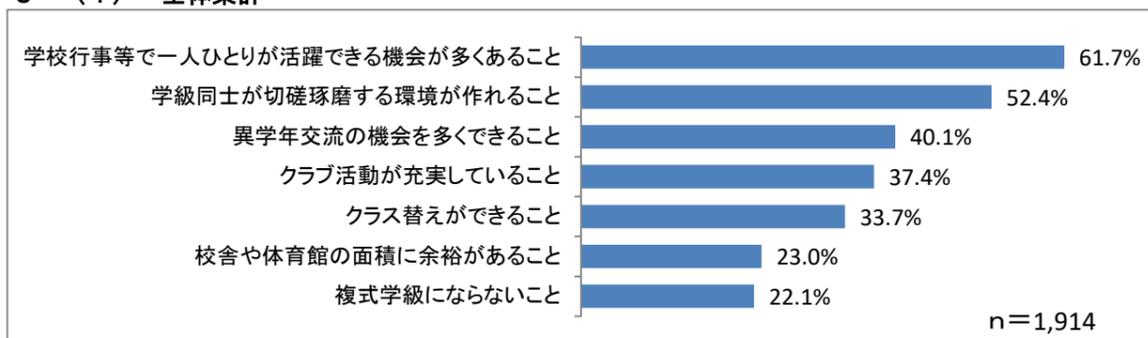
7-(3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



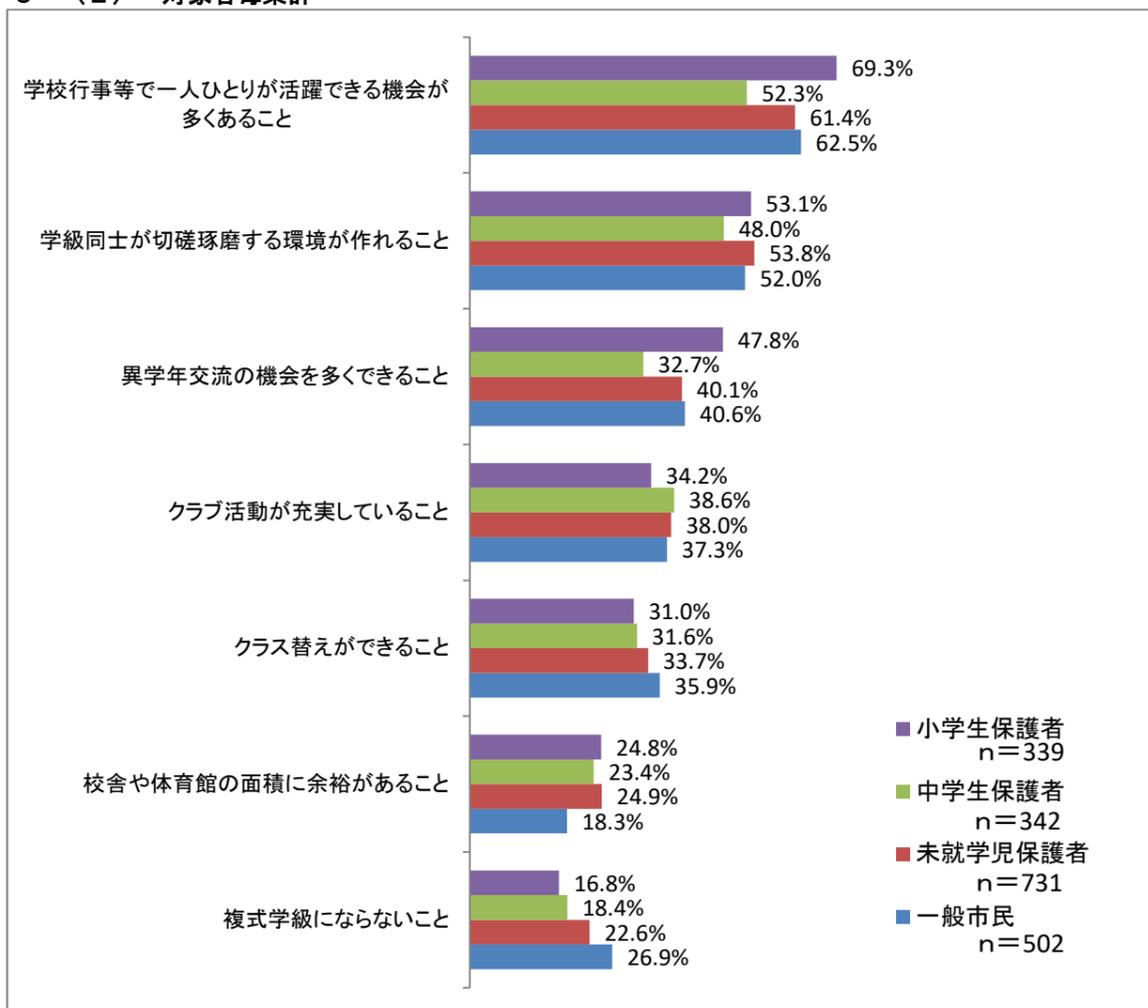
中学校の学級人数を決めるにあたり重要なことについては、居住地別での回答も、全ての対象で「学習指導がきめ細かくできること」「教員が児童に向き合う時間が多いこと」「コミュニケーション能力が身に付くこと」の順で回答が多くなっている。
鹿島区と原町区で「団体でのスポーツや音楽の様々な活動ができること」が3割以下となっている一方で、小高区では34.8ポイントとなっている。

3 小学校の学校規模を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）

3-（1）全体集計



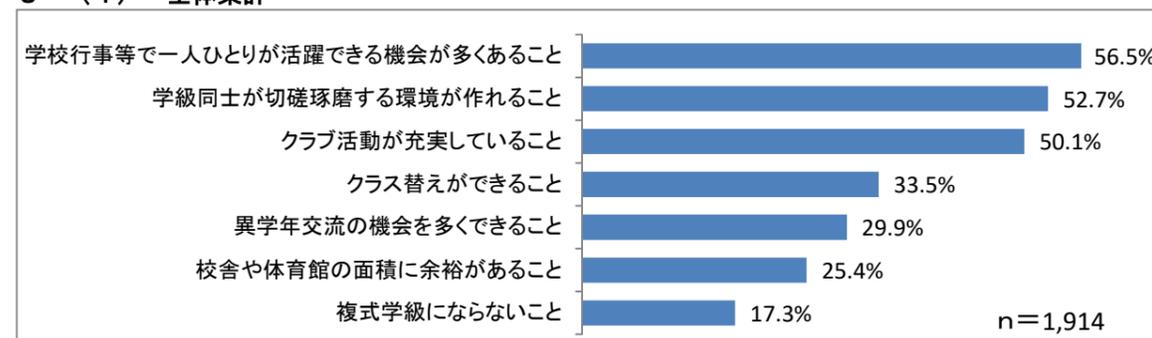
3-（2）対象者毎集計



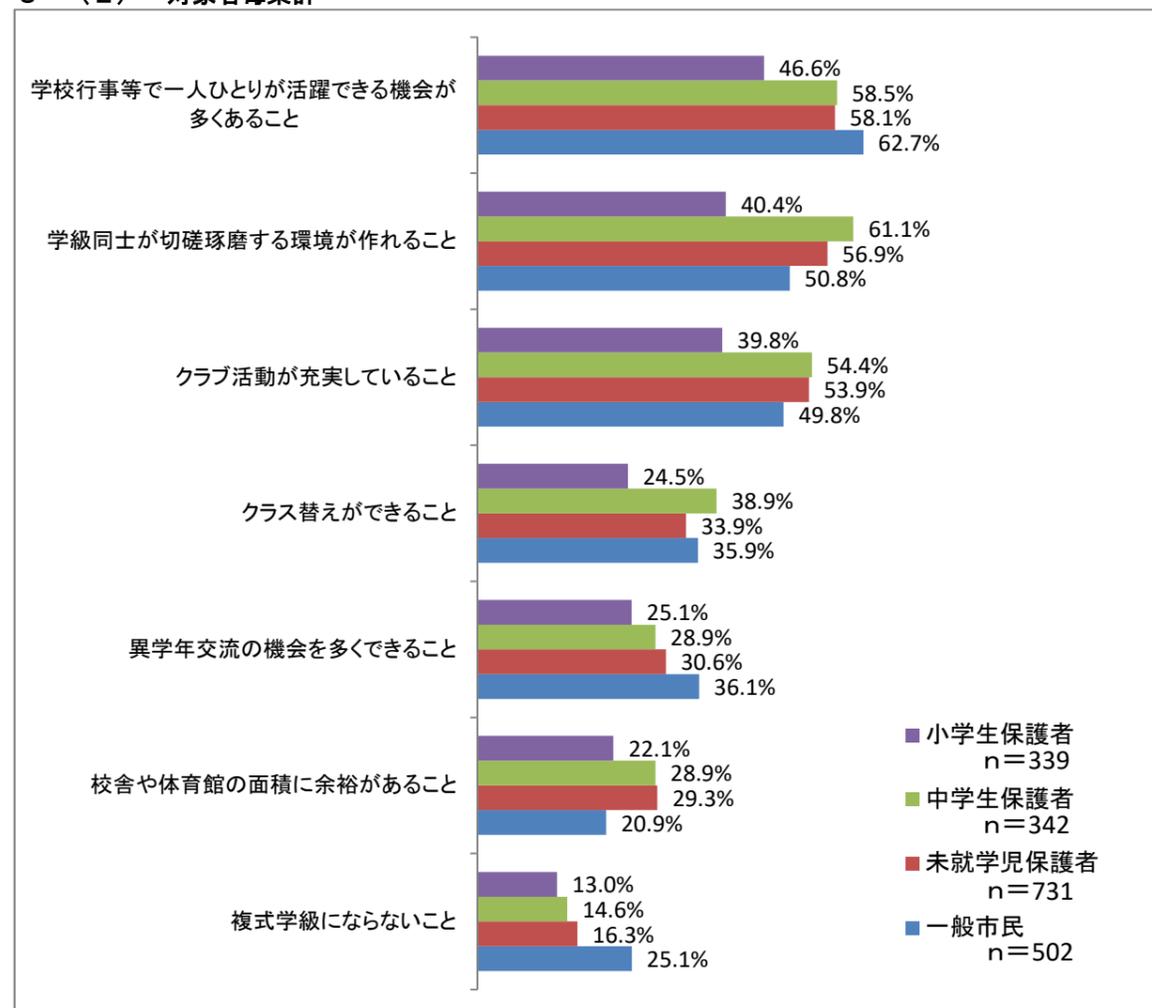
小学校の学校規模を決めるにあたり重要なことについては、全ての調査対象で「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」の順で回答が多くなっている。一般市民は、「クラス替えができること」「複式学級にならないこと」の回答が他の調査対象より多くなっている。

8 中学校の学校規模を決めるにあたり、重要なことは何ですか（3つまで選択）

8-（1）全体集計

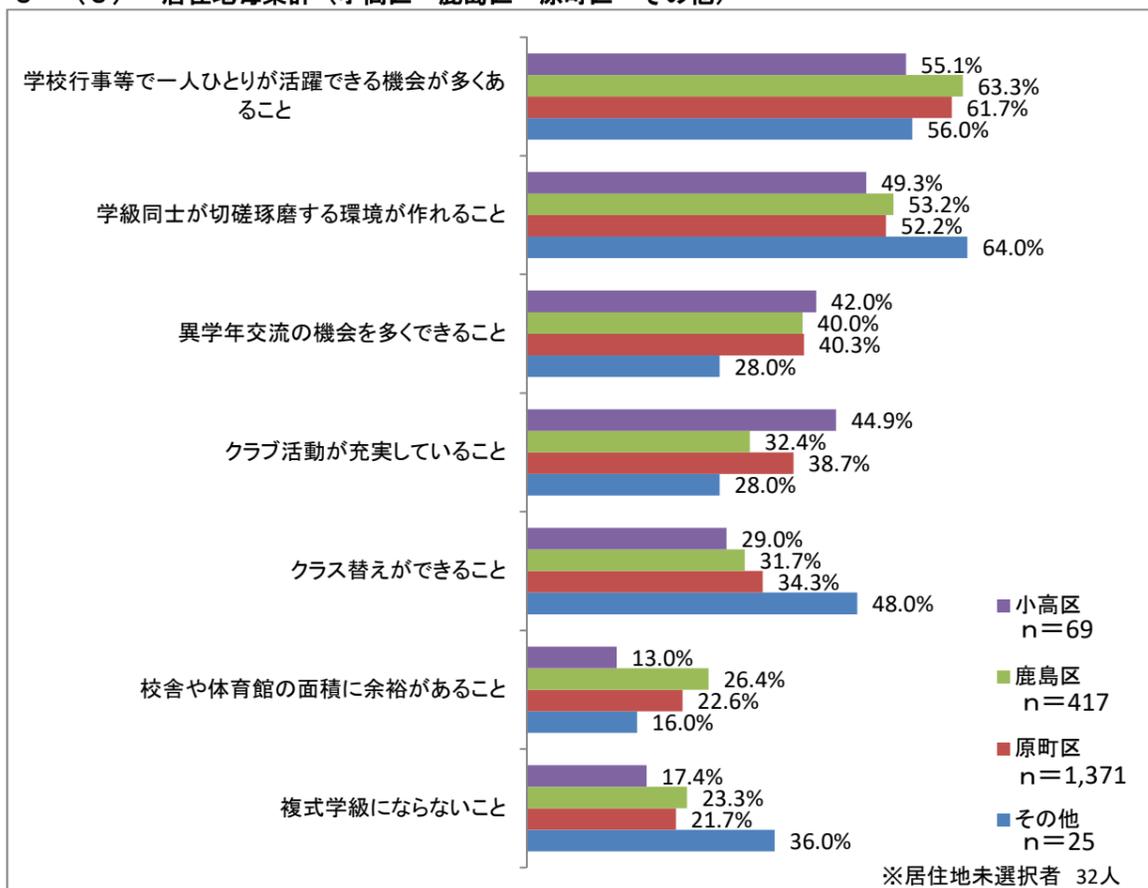


8-（2）対象者毎集計



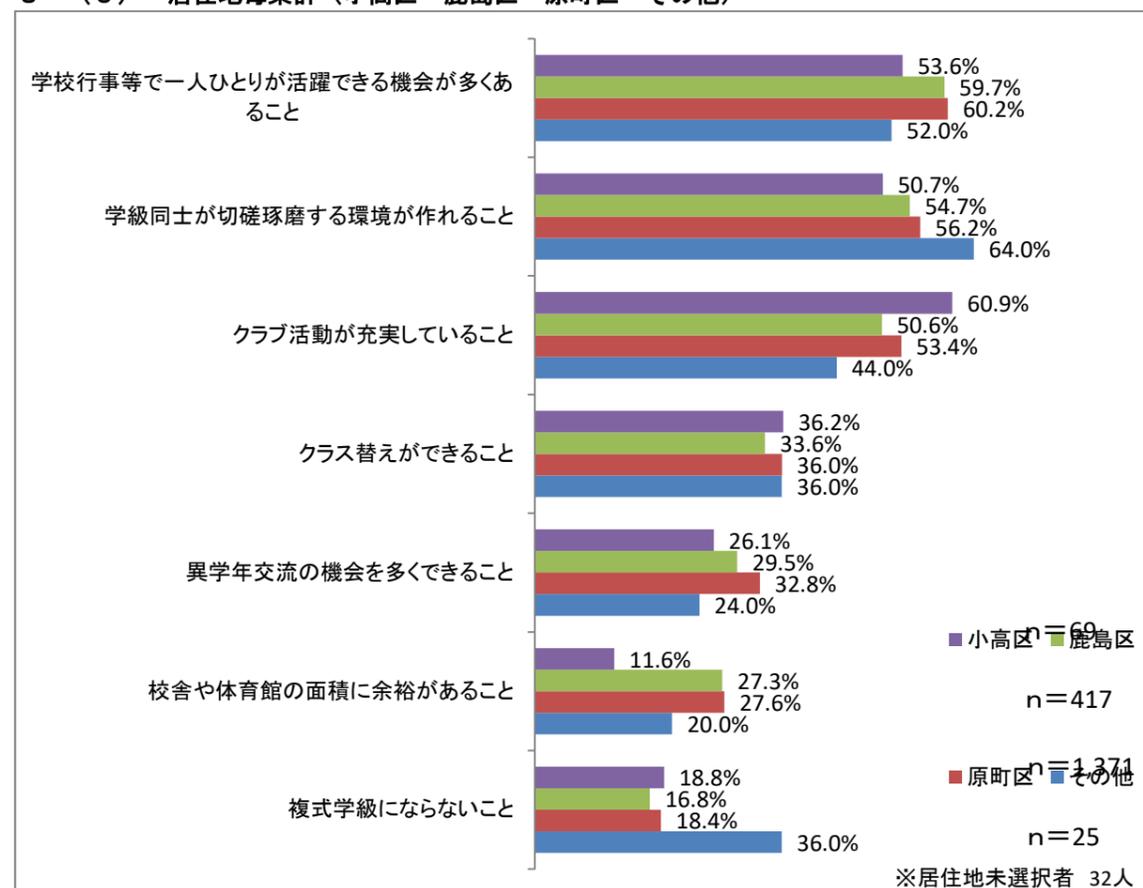
中学校の学校規模を決めるにあたり重要なことについては、小学生保護者・未就学児保護者・一般市民が「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」を最も多く回答している一方、中学生保護者は「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」と最も多く回答しており、「クラス替えができること」の回答が他の調査対象より多くなっている。一般市民は「異学年交流の機会を多くできること」「複式学級にならないこと」の回答が他の調査対象より多くなっている。

3- (3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



小学校の学校規模を決めるにあたり重要なことについては、その他を除く全ての居住区で「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」の順で回答が多くなっている。また、小高区では、「クラブ活動が充実していること」の回答が他の調査対象より多くなっている。

8- (3) 居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）

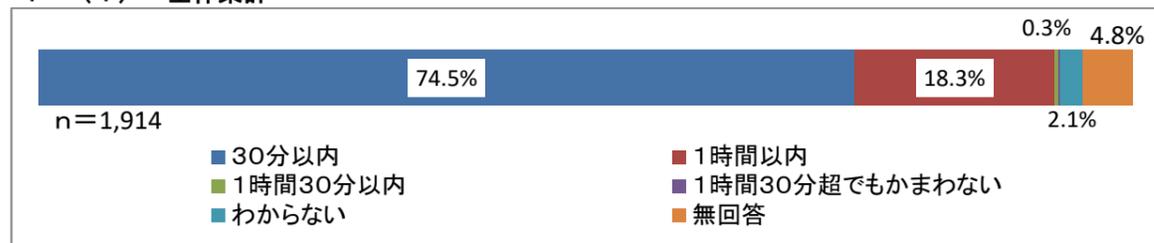


中学校の学校規模を決めるにあたり重要なことについては、鹿島区と原町区で「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」「学級同士が切磋琢磨する環境が作れること」の順で多く回答しており、小高区は「クラブ活動が充実していること」「学校行事等で一人ひとりが活躍できる機会が多くあること」の順で多く回答されている。

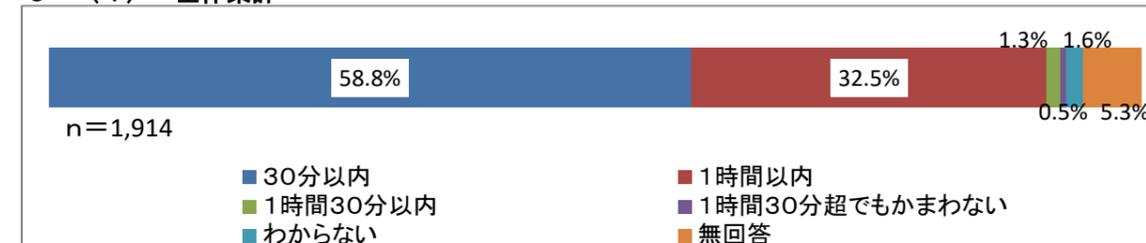
4 小学校までの通学時間は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）

9 中学校までの通学時間は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）

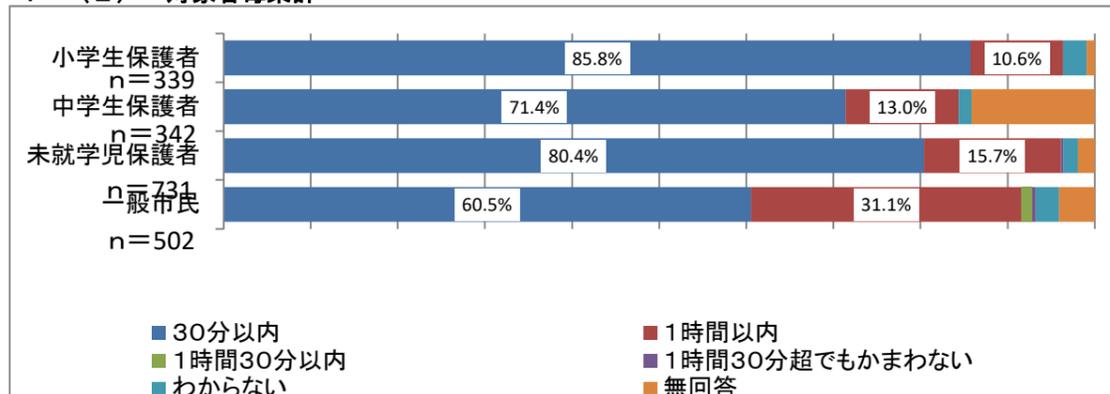
4-（1）全体集計



9-（1）全体集計

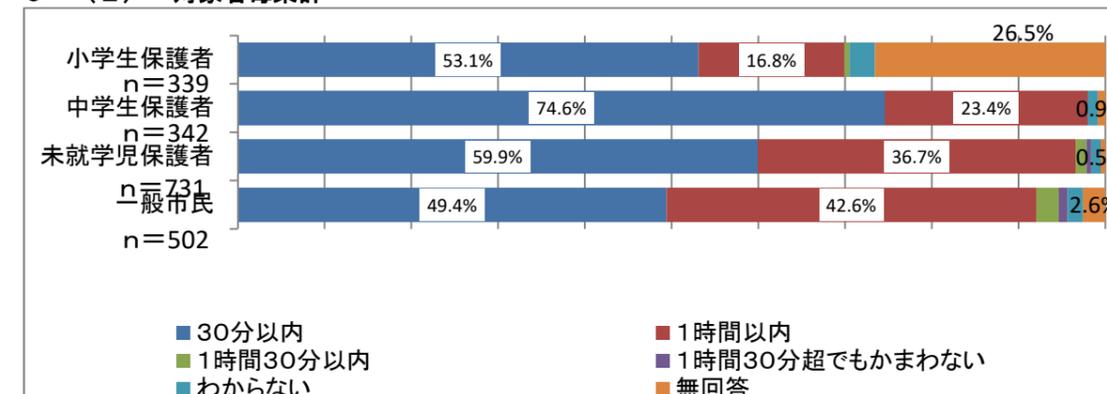


4-（2）対象者毎集計



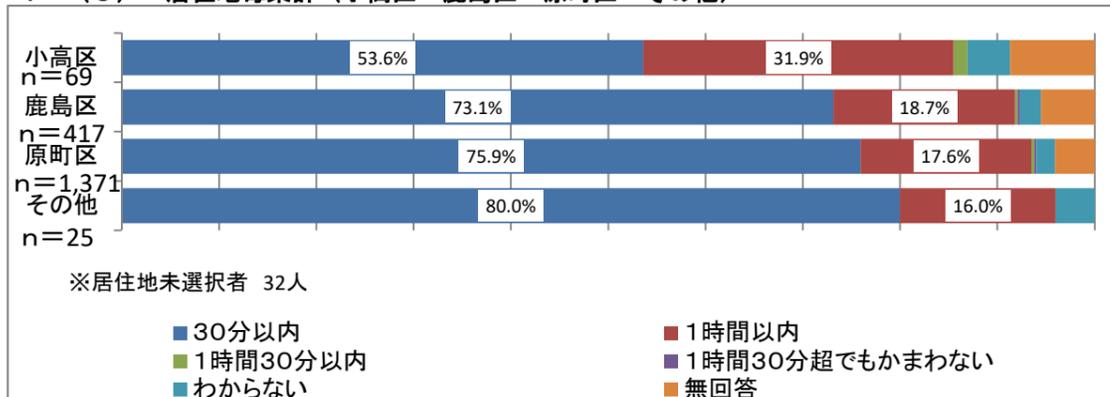
小学校の望ましい通学時間については、全ての調査対象で「30分以内」の回答が多くなっている。次いで「1時間以内」の回答が多く、特に一般市民が顕著である。

9-（2）対象者毎集計



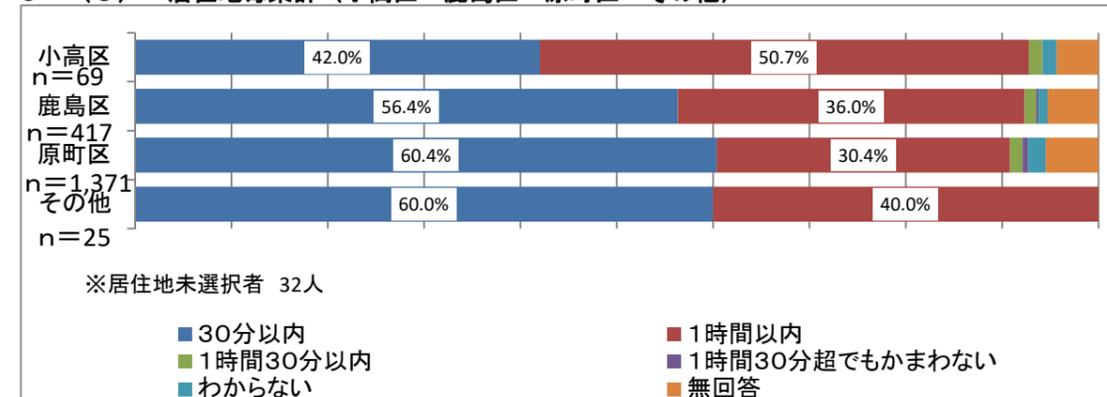
中学校の望ましい通学時間については、全ての調査対象で「30分以内」の回答が多くなっている。次いで「1時間以内」の回答が多く、特に未就学児保護者・一般市民が顕著

4-（3）居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



小学校の望ましい通学時間については、全ての区で「30分以内」の回答が多くなっている。次いで「1時間以内」の回答が多く、特に小高区が顕著である。

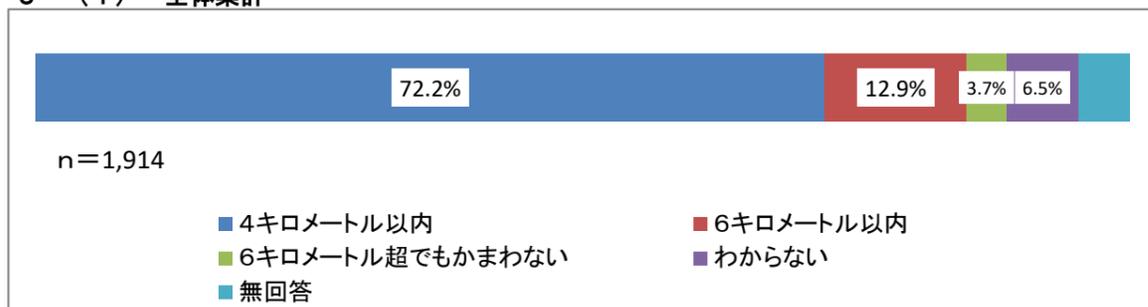
9-（3）居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



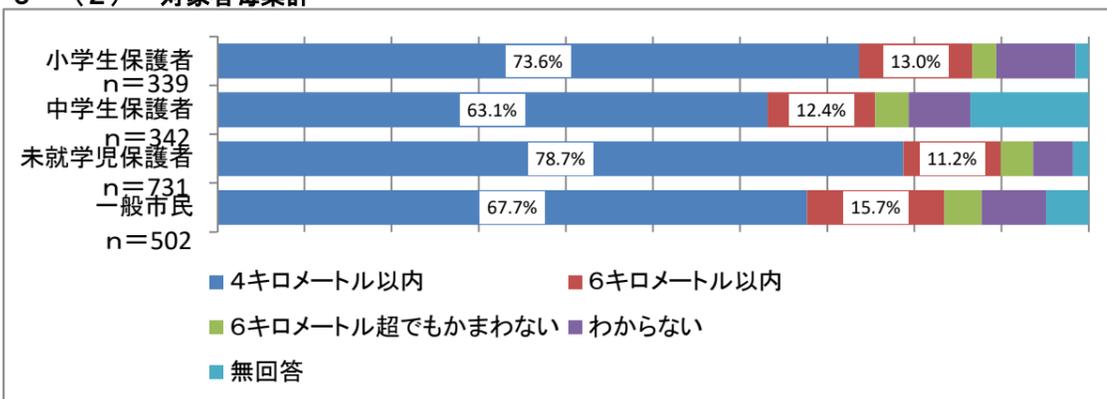
中学校の望ましい通学時間については、小高区以外の調査対象で「30分以内」の回答が多くなっている。次いで「1時間以内」の回答が多い一方、小高区は「1時間以内」が最も多く、次いで「30分以内」となっている。

5 小学校までの通学距離は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）

5-（1）全体集計



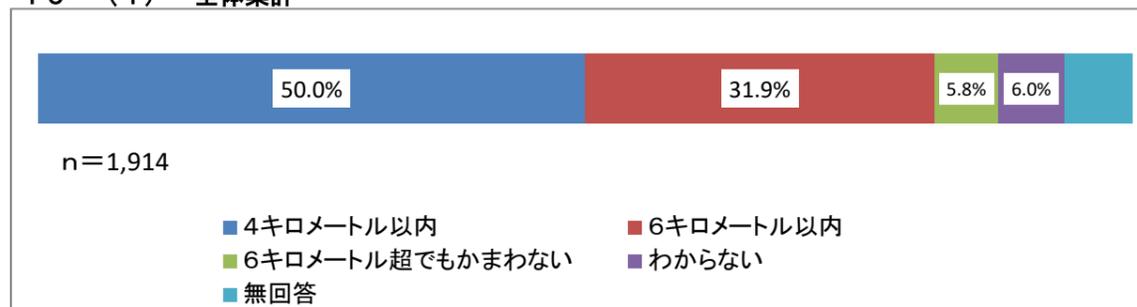
5-（2）対象者毎集計



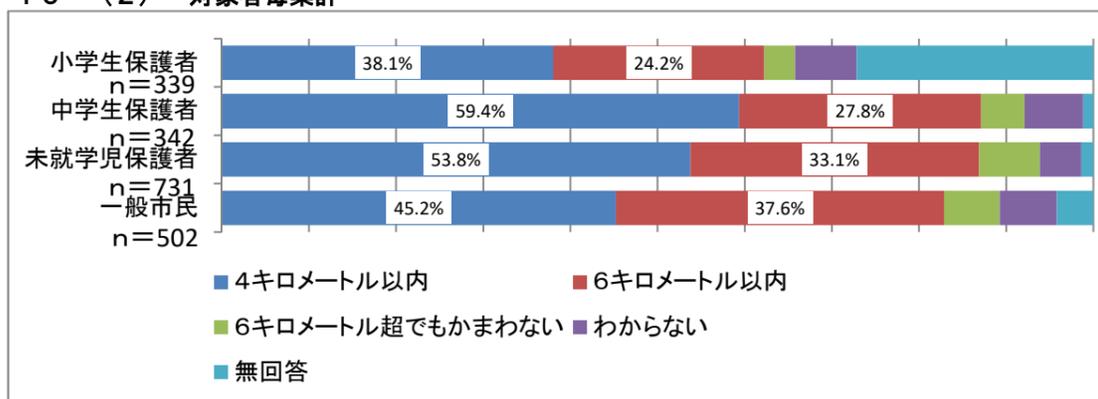
小学校までの望ましい通学距離については、全ての調査対象で「4キロメートル以内」の回答が最も多く、次いで「6キロメートル以内」となっている。特に、未就学児保護者の回答で「4キロメートル以内」は78.7ポイントであった。

10 中学校までの通学距離は、どのくらいが望ましいですか（1つ選択）

10-（1）全体集計

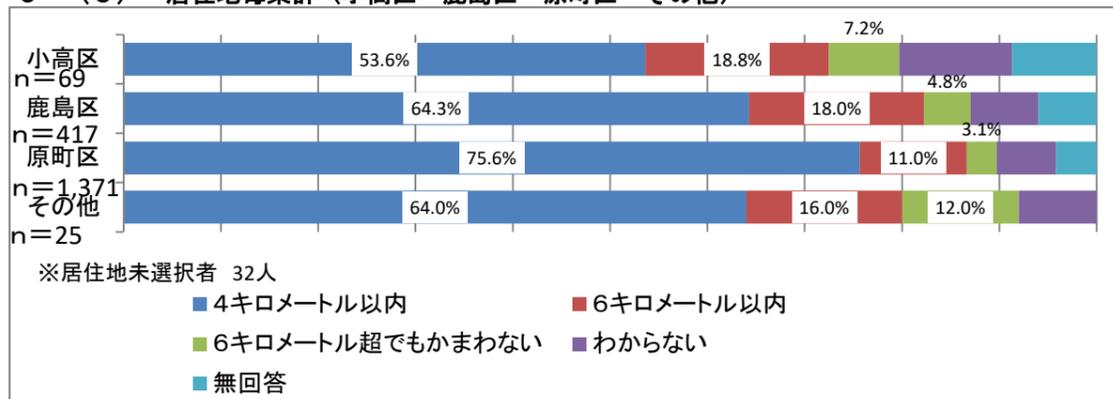


10-（2）対象者毎集計



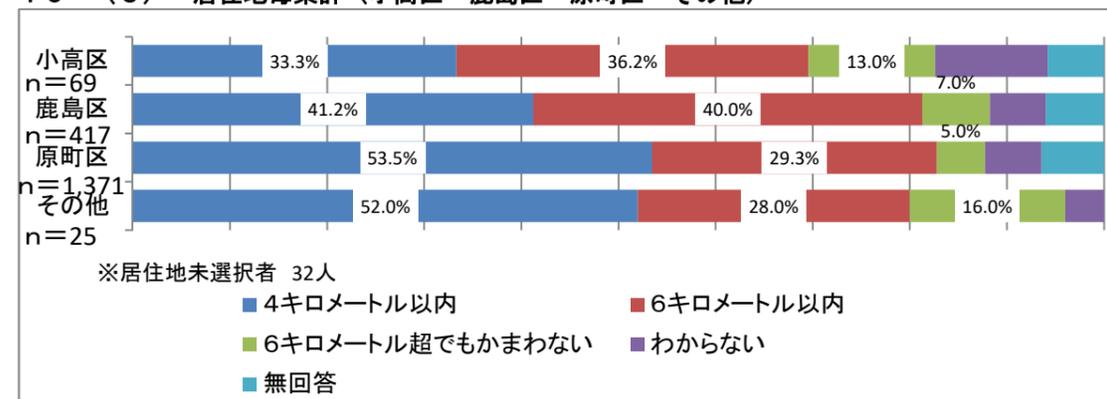
中学校までの望ましい通学距離については、全ての調査対象で「4キロメートル以内」の回答が最も多く、次いで「6キロメートル以内」となっている。一般市民で「6キロメートル以内」と回答した割合が比較的多かった。

5-（3）居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



小学校までの望ましい通学距離については、全ての区で「4キロメートル以内」の回答が最も多く、次いで「6キロメートル以内」となっている。特に、原町区の回答で「4キロメートル以内」は75.6ポイントであった。

10-（3）居住地毎集計（小高区・鹿島区・原町区・その他）



中学校までの望ましい通学距離については、小高区以外は「4キロメートル以内」の回答が最も多く、次いで「6キロメートル以内」となっている。小高区は「6キロメートル以内」が最も回答が多かった。

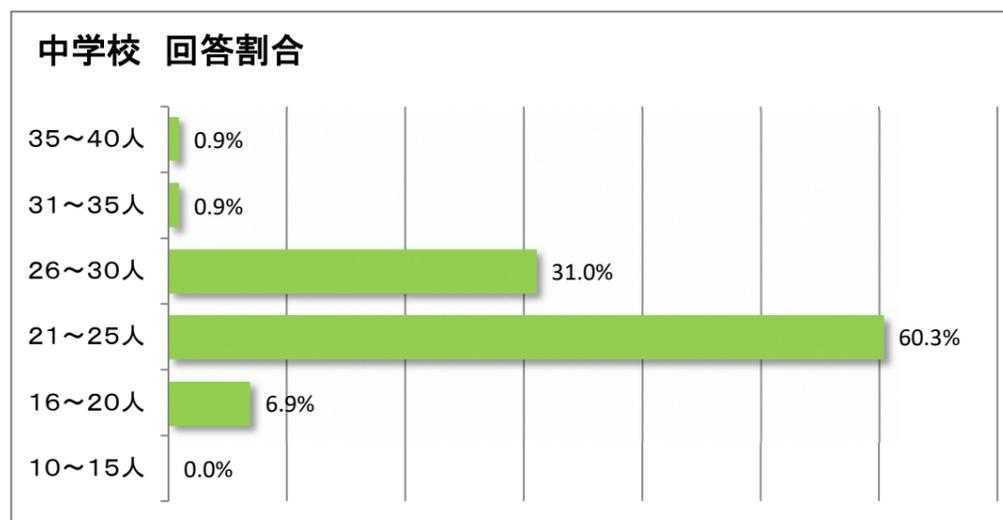
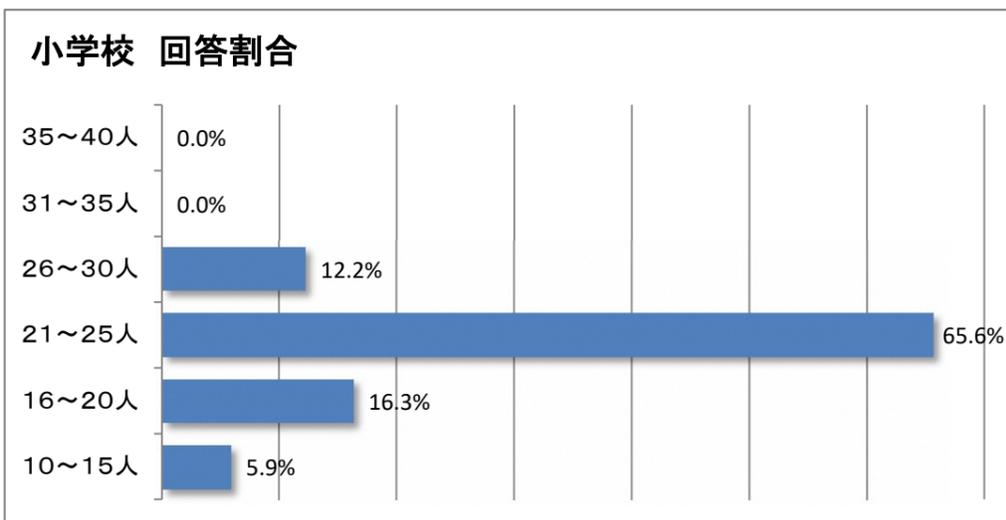
学校適正化に関するアンケート調査結果(教職員)

調査期間 平成30年1月27日～2月7日
 調査対象 市内小中学校教職員(小学校221人、中学校116人)

■1学級あたりの望ましい人数(1つ選択)

	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
10～15人	1	0	2	0	1	2	1	0	1	2	1	2	13	0	0	0	0	0	0	0
15～20人	4	1	0	4	3	4	4	2	3	1	0	10	36	1	1	4	0	2	0	8
21～25人	18	13	12	8	7	4	7	23	19	10	7	17	145	19	10	12	14	7	8	70
26～30人	8	1	4	2	2	1	0	0	4	1	3	1	27	9	7	0	4	12	4	36
31～35人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
35～40人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	31	15	18	14	13	11	12	25	27	14	11	30	221	30	18	16	18	21	13	116

	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
10～15人	3.2%	0.0%	11.1%	0.0%	7.7%	18.2%	8.3%	0.0%	3.7%	14.3%	9.1%	6.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15～20人	12.9%	6.7%	0.0%	28.6%	23.1%	36.4%	33.3%	8.0%	11.1%	7.1%	0.0%	33.3%	16.3%	3.3%	5.6%	25.0%	0.0%	9.5%	0.0%	6.9%
21～25人	58.1%	86.7%	66.7%	57.1%	53.8%	36.4%	58.3%	92.0%	70.4%	71.4%	63.6%	56.7%	65.6%	63.3%	55.6%	75.0%	77.8%	33.3%	61.5%	60.3%
26～30人	25.8%	6.7%	22.2%	14.3%	15.4%	9.1%	0.0%	0.0%	14.8%	7.1%	27.3%	3.3%	12.2%	30.0%	38.9%	0.0%	22.2%	57.1%	30.8%	31.0%
31～35人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
35～40人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



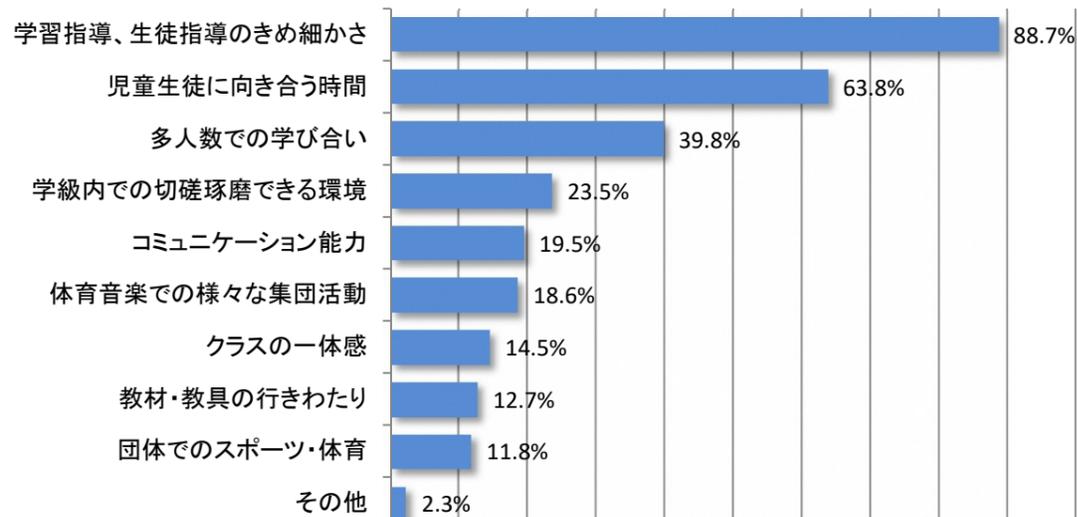
○小学校中学校とも「1学級あたり21～25人」の回答が最も多い。
 ○次いで、小学校で「1学校あたり16～20人」、中学校で「1学級あたり26～30人」の回答が多い。

■学級人数を決めるのに重要なこと(3つまで選択)

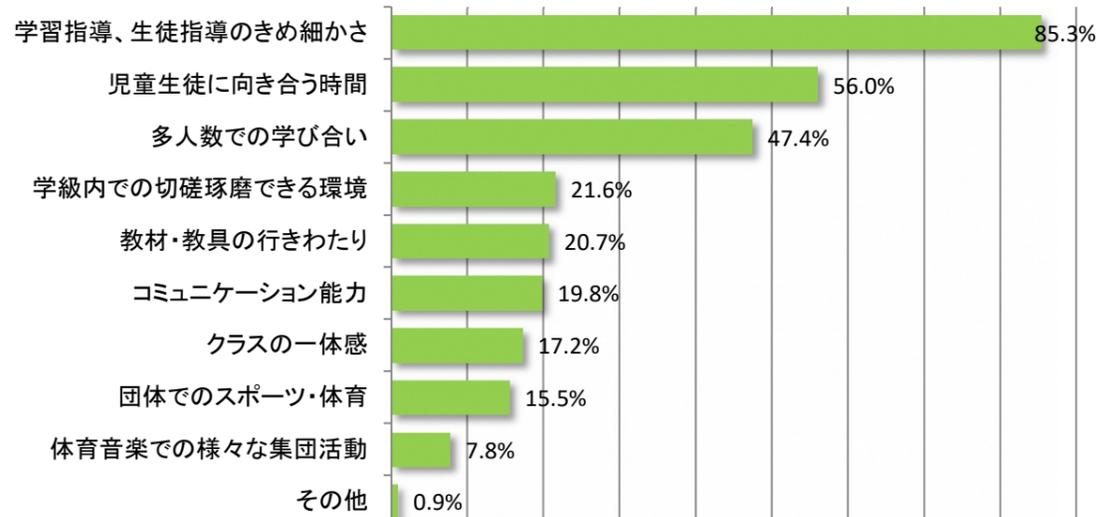
	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
学習指導、生徒指導のきめ細かさ	27	11	17	13	12	9	10	22	26	13	10	26	196	25	15	13	15	21	10	99
クラスの一体感	7	0	3	1	1	1	3	3	3	2	1	7	32	10	3	2	2	2	1	20
児童生徒に向き合う時間	20	7	13	8	10	7	3	18	20	11	7	17	141	16	8	9	12	13	7	65
教材・教具の行きわたり	7	1	2	1	2	3	0	4	3	2	2	1	28	7	4	4	2	3	4	24
学級内での切磋琢磨できる環境	6	8	4	4	4	2	1	5	5	2	2	9	52	6	4	1	6	5	3	25
団体でのスポーツ・体育	4	0	0	3	3	1	5	1	1	2	3	3	26	5	2	3	4	2	2	18
コミュニケーション能力	8	4	5	2	0	3	1	4	5	1	2	8	43	4	5	2	1	7	4	23
多人数での学び合い	10	8	8	6	7	2	4	7	12	5	4	15	88	12	10	9	10	11	3	55
体育音楽での様々な集団活動	3	1	1	4	0	2	7	10	4	4	2	3	41	5	1	1	0	1	1	9
その他	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	1
教職員数	31	15	18	14	13	11	12	25	27	14	11	30	221	30	18	16	18	21	13	116

	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
学習指導、生徒指導のきめ細かさ	87.1%	73.3%	94.4%	92.9%	92.3%	81.8%	83.3%	88.0%	96.3%	92.9%	90.9%	86.7%	88.7%	83.3%	83.3%	81.3%	83.3%	100.0%	76.9%	85.3%
クラスの一体感	22.6%	0.0%	16.7%	7.1%	7.7%	9.1%	25.0%	12.0%	11.1%	14.3%	9.1%	23.3%	14.5%	33.3%	16.7%	12.5%	11.1%	9.5%	7.7%	17.2%
児童生徒に向き合う時間	64.5%	46.7%	72.2%	57.1%	76.9%	63.6%	25.0%	72.0%	74.1%	78.6%	63.6%	56.7%	63.8%	53.3%	44.4%	56.3%	66.7%	61.9%	53.8%	56.0%
教材・教具の行きわたり	22.6%	6.7%	11.1%	7.1%	15.4%	27.3%	0.0%	16.0%	11.1%	14.3%	18.2%	3.3%	12.7%	23.3%	22.2%	25.0%	11.1%	14.3%	30.8%	20.7%
学級内での切磋琢磨できる環境	19.4%	53.3%	22.2%	28.6%	30.8%	18.2%	8.3%	20.0%	18.5%	14.3%	18.2%	30.0%	23.5%	20.0%	22.2%	6.3%	33.3%	23.8%	23.1%	21.6%
団体でのスポーツ・体育	12.9%	0.0%	0.0%	21.4%	23.1%	9.1%	41.7%	4.0%	3.7%	14.3%	27.3%	10.0%	11.8%	16.7%	11.1%	18.8%	22.2%	9.5%	15.4%	15.5%
コミュニケーション能力	25.8%	26.7%	27.8%	14.3%	0.0%	27.3%	8.3%	16.0%	18.5%	7.1%	18.2%	26.7%	19.5%	13.3%	27.8%	12.5%	5.6%	33.3%	30.8%	19.8%
多人数での学び合い	32.3%	53.3%	44.4%	42.9%	53.8%	18.2%	33.3%	28.0%	44.4%	35.7%	36.4%	50.0%	39.8%	40.0%	55.6%	56.3%	55.6%	52.4%	23.1%	47.4%
体育音楽での様々な集団活動	9.7%	6.7%	5.6%	28.6%	0.0%	18.2%	58.3%	40.0%	14.8%	28.6%	18.2%	10.0%	18.6%	16.7%	5.6%	6.3%	0.0%	4.8%	7.7%	7.8%
その他	3.2%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.9%

小学校 回答割合



中学校 回答割合



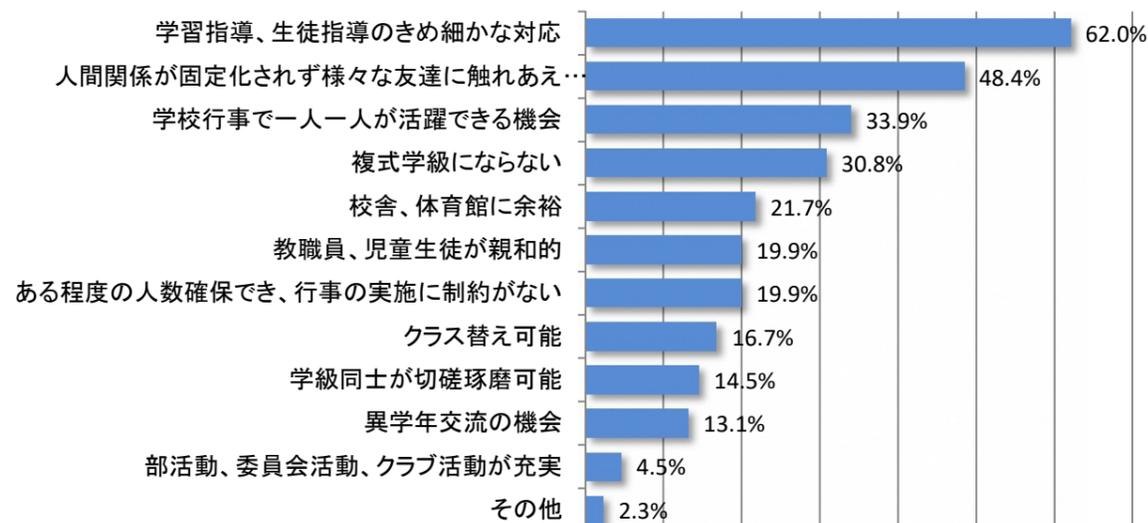
○小学校中学校とも「学習指導、生徒指導のきめ細かさ」「児童生徒に向き合う時間」「多人数での学び合い」の順で回答が多い。

■学校規模を決めるのに重要なこと(3つまで選択)

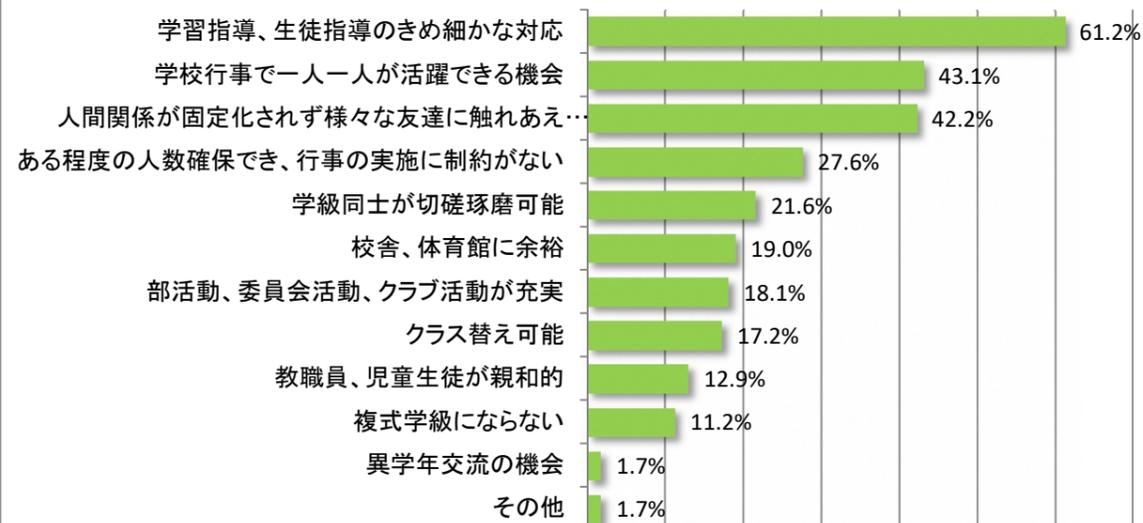
	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
学校行事で一人一人が活躍できる機会	11	3	6	3	6	6	3	7	8	6	3	13	75	15	5	8	5	10	7	50
校舎、体育館に余裕	11	0	2	3	1	3	2	7	7	4	0	8	48	9	4	1	2	3	3	22
異学年交流の機会	3	6	3	1	1	0	0	5	1	2	3	4	29	1	0	0	1	0	0	2
教職員、児童生徒が親和的	7	0	7	4	3	0	1	5	8	2	1	6	44	2	2	2	4	3	2	15
学習指導、生徒指導のきめ細かな対応	15	5	12	9	11	8	11	13	19	9	7	18	137	13	13	8	14	16	7	71
クラス替え可能	7	2	5	0	0	0	2	9	5	2	1	4	37	5	2	5	2	2	4	20
部活動、委員会活動、クラブ活動が充実	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0	3	2	10	6	5	4	3	0	3	21
学級同士が切磋琢磨可能	5	7	1	5	2	0	2	2	5	1	2	0	32	2	5	4	5	5	4	25
複式学級にならない	12	3	2	4	1	5	6	7	10	6	3	9	68	8	0	1	2	0	2	13
人間関係が固定化されず様々な友達に	10	12	8	7	10	6	3	11	11	9	5	15	107	12	8	11	5	11	2	49
ある程度の人数確保でき、行事の実施	5	4	4	6	4	1	4	5	2	1	2	6	44	7	7	5	7	4	2	32
その他	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	5	2	0	0	0	0	0	2
教職員数	31	15	18	14	13	11	12	25	27	14	11	30	221	30	18	16	18	21	13	116

	原1小	原2小	原3小	高平小	大甕小	太田小	石1小	石2小	鹿島小	八沢小	上真野小	小高4小	計	原1中	原2中	原3中	石神中	鹿島中	小高中	計
学校行事で一人一人が活躍できる機会	35.5%	20.0%	33.3%	21.4%	46.2%	54.5%	25.0%	28.0%	29.6%	42.9%	27.3%	43.3%	33.9%	50.0%	27.8%	50.0%	27.8%	47.6%	53.8%	43.1%
校舎、体育館に余裕	35.5%	0.0%	11.1%	21.4%	7.7%	27.3%	16.7%	28.0%	25.9%	28.6%	0.0%	26.7%	21.7%	30.0%	22.2%	6.3%	11.1%	14.3%	23.1%	19.0%
異学年交流の機会	9.7%	40.0%	16.7%	7.1%	7.7%	0.0%	0.0%	20.0%	3.7%	14.3%	27.3%	13.3%	13.1%	3.3%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	1.7%
教職員、児童生徒が親和的	22.6%	0.0%	38.9%	28.6%	23.1%	0.0%	8.3%	20.0%	29.6%	14.3%	9.1%	20.0%	19.9%	6.7%	11.1%	12.5%	22.2%	14.3%	15.4%	12.9%
学習指導、生徒指導のきめ細かな対応	48.4%	33.3%	66.7%	64.3%	84.6%	72.7%	91.7%	52.0%	70.4%	64.3%	63.6%	60.0%	62.0%	43.3%	72.2%	50.0%	77.8%	76.2%	53.8%	61.2%
クラス替え可能	22.6%	13.3%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	36.0%	18.5%	14.3%	9.1%	13.3%	16.7%	16.7%	11.1%	31.3%	11.1%	9.5%	30.8%	17.2%
部活動、委員会活動、クラブ活動が充実	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	0.0%	27.3%	6.7%	4.5%	20.0%	27.8%	25.0%	16.7%	0.0%	23.1%	18.1%
学級同士が切磋琢磨可能	16.1%	46.7%	5.6%	35.7%	15.4%	0.0%	16.7%	8.0%	18.5%	7.1%	18.2%	0.0%	14.5%	6.7%	27.8%	25.0%	27.8%	23.8%	30.8%	21.6%
複式学級にならない	38.7%	20.0%	11.1%	28.6%	7.7%	45.5%	50.0%	28.0%	37.0%	42.9%	27.3%	30.0%	30.8%	26.7%	0.0%	6.3%	11.1%	0.0%	15.4%	11.2%
人間関係が固定化されず様々な友達に	32.3%	80.0%	44.4%	50.0%	76.9%	54.5%	25.0%	44.0%	40.7%	64.3%	45.5%	50.0%	48.4%	40.0%	44.4%	68.8%	27.8%	52.4%	15.4%	42.2%
ある程度の人数確保でき、行事の実施	16.1%	26.7%	22.2%	42.9%	30.8%	9.1%	33.3%	20.0%	7.4%	7.1%	18.2%	20.0%	19.9%	23.3%	38.9%	31.3%	38.9%	19.0%	15.4%	27.6%
その他	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	9.1%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	2.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%

小学校 回答割合



中学校 回答割合



- 小学校中学校とも「学習指導、生徒指導のきめ細かさ」の回答が最も多い。
- 次いで、小学校が「人間関係が固定化されず様々な友達に触れ合う」「学校行事で一人一人が活躍できる機会」の回答が多い。
- 中学校は、「学校行事で一人一人が活躍できる機会」「人間関係が固定化されず様々な友達に触れ合う」の回答が多い。

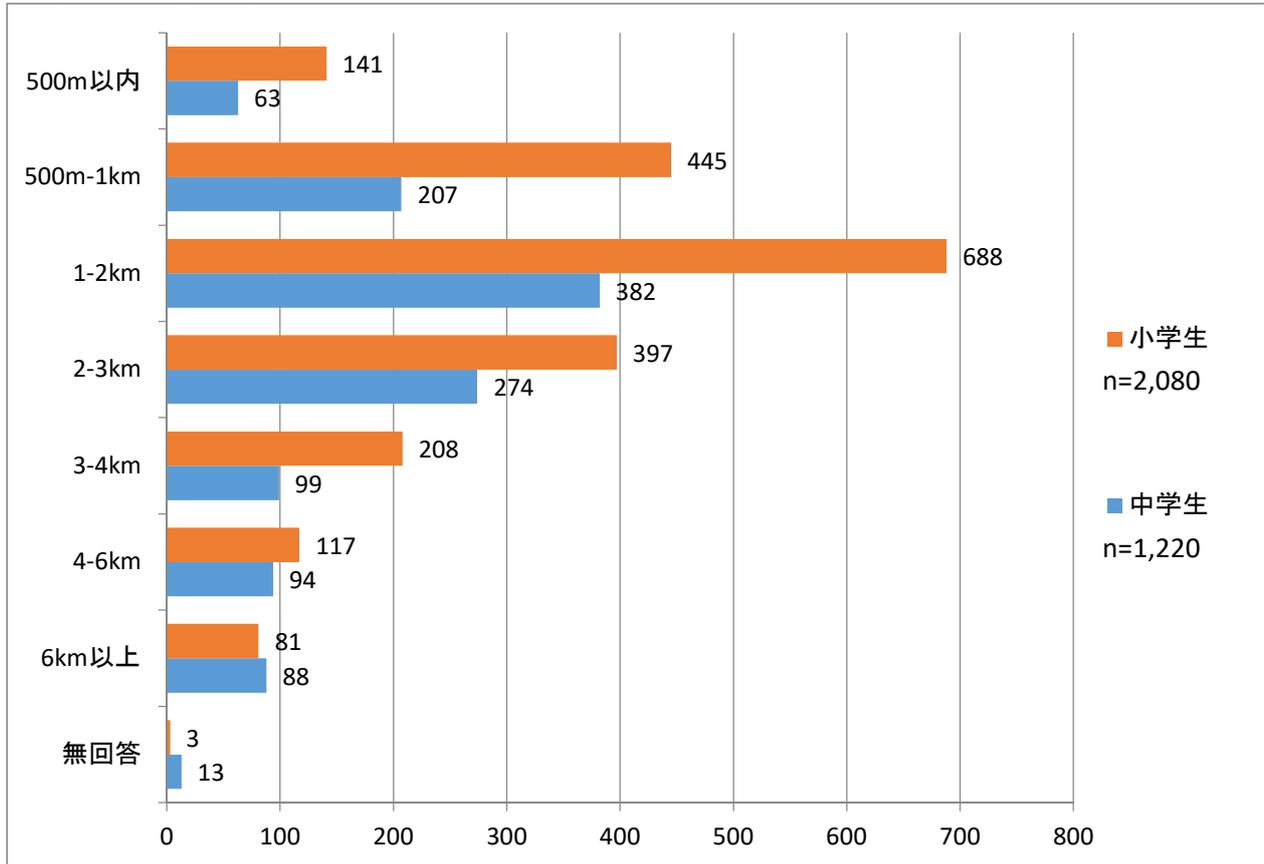
市内児童生徒の通学状況調査結果

- 調査対象 市内小中学生全員
- 調査期間 平成29年8月25日～9月15日
- 調査基準日 平成29年8月25日
- 調査結課 以下のとおり

《 通学距離の状況 》

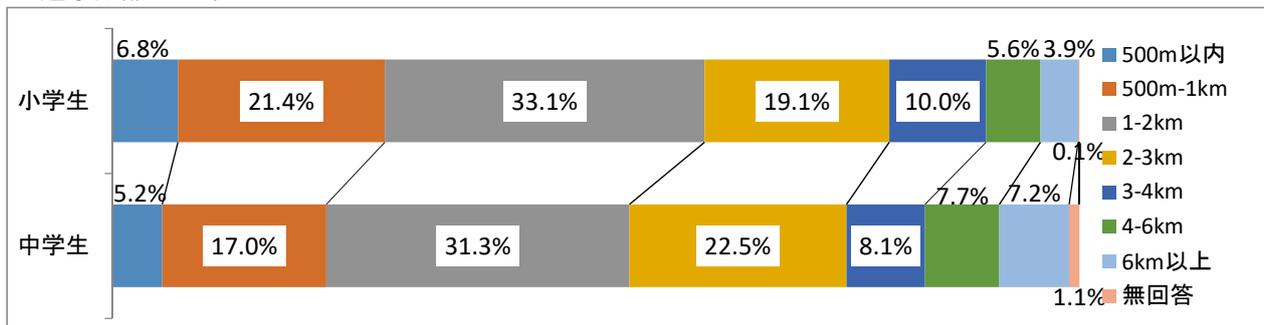
○小学校中学校別の通学距離

・通学距離及びその人数



最も多い通学距離は、小中学生とも1～2kmである。2番目に多いのが小学生は500m～1km、中学生は2～3kmである。

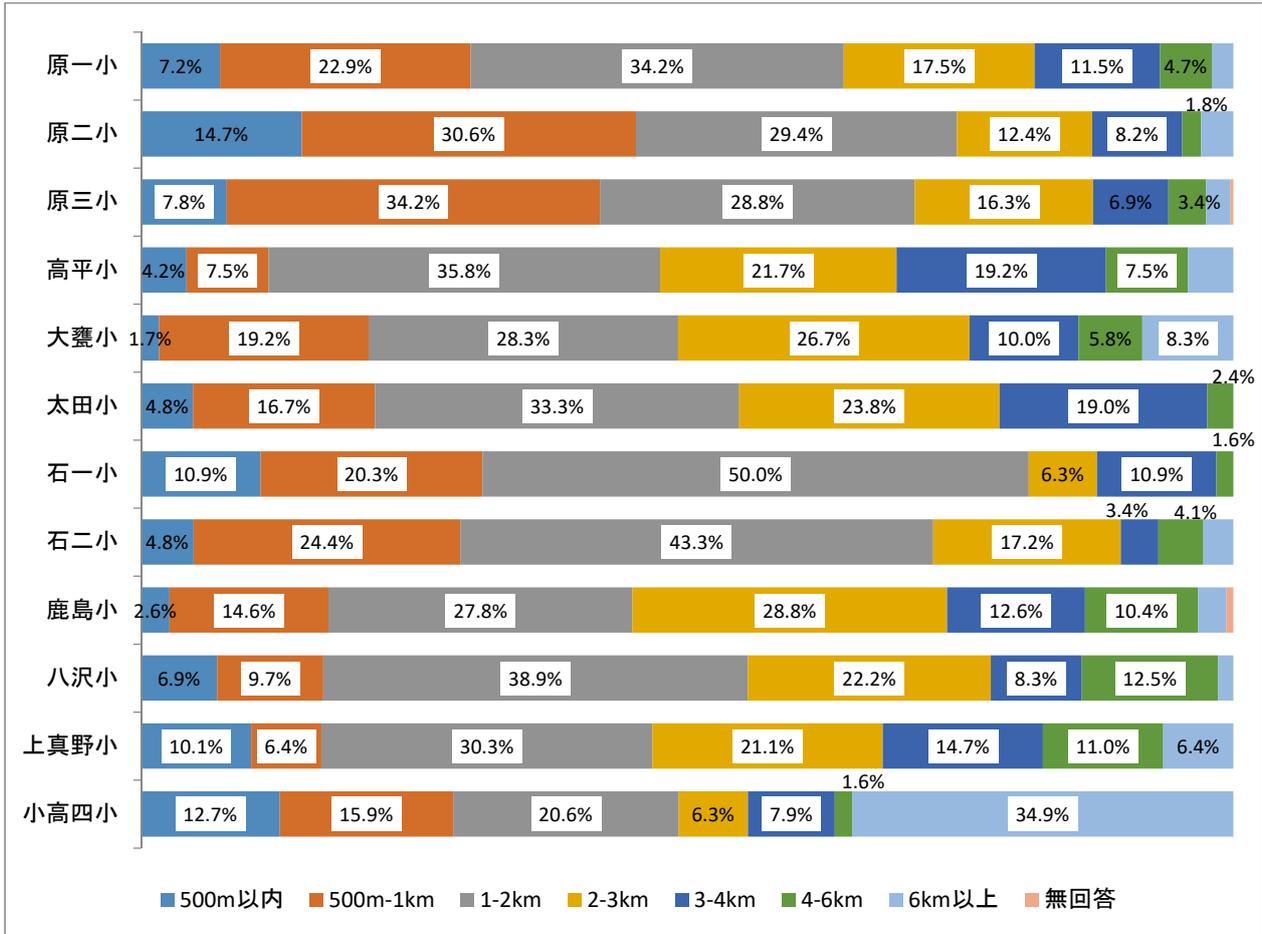
・通学距離の比率



最も多い割合を占める通学距離は、1～2kmであり小中学生とも3割を超えている。(国が示す配置(距離)の基準が、小学校4km以内、中学校6km以内であることを考慮すると、通学距離だけをみると、小中学生とも9割は適正であるという結果である。)

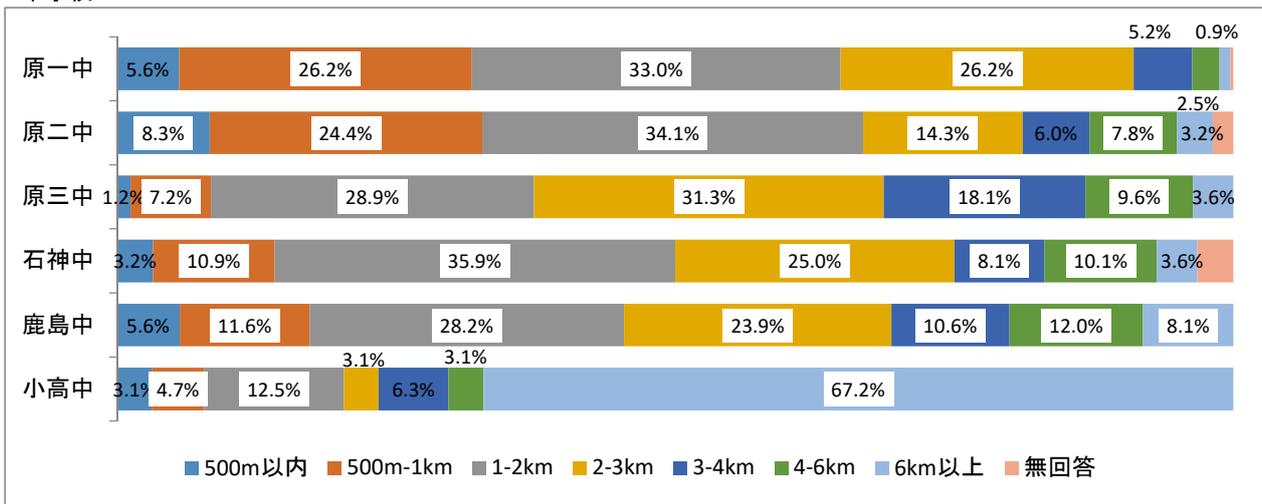
○学校別通学距離の比率

・小学校



小学校の配置(距離)が4km以内を適正な基準とすれば、大甕小・鹿島小・八沢小・上真野小・小高四小が比較的に適正化率が低い。特に「小高四小」は顕著であり、避難先から通学する児童が多いものと推察される。

・中学校

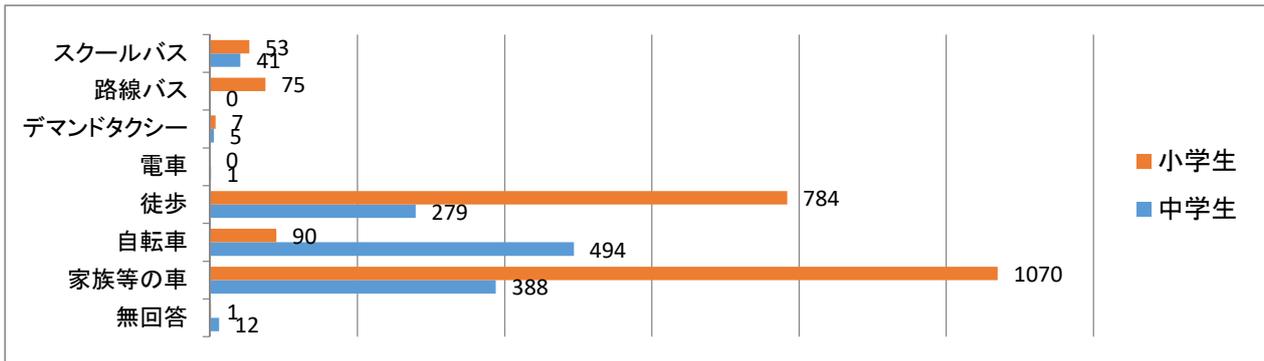


中学校の配置(距離)が6km以内を適正な基準とすれば、石神中・鹿島中・小高中が比較的に適正化率が低い。特に「小高中」は顕著であり、避難先から通学する児童が多いものと推察される。

《 通 学 方 法 の 状 況 》

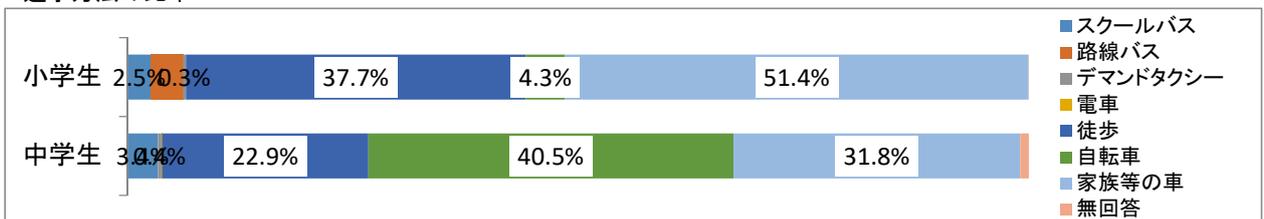
○小学校中学校別の通学方法

・通学方法及びその人数



最も多い通学方法は、小学生は「家族等の車」、次いで「徒歩」である。中学生は「自転車」、次いで「家族等の車」となっている。

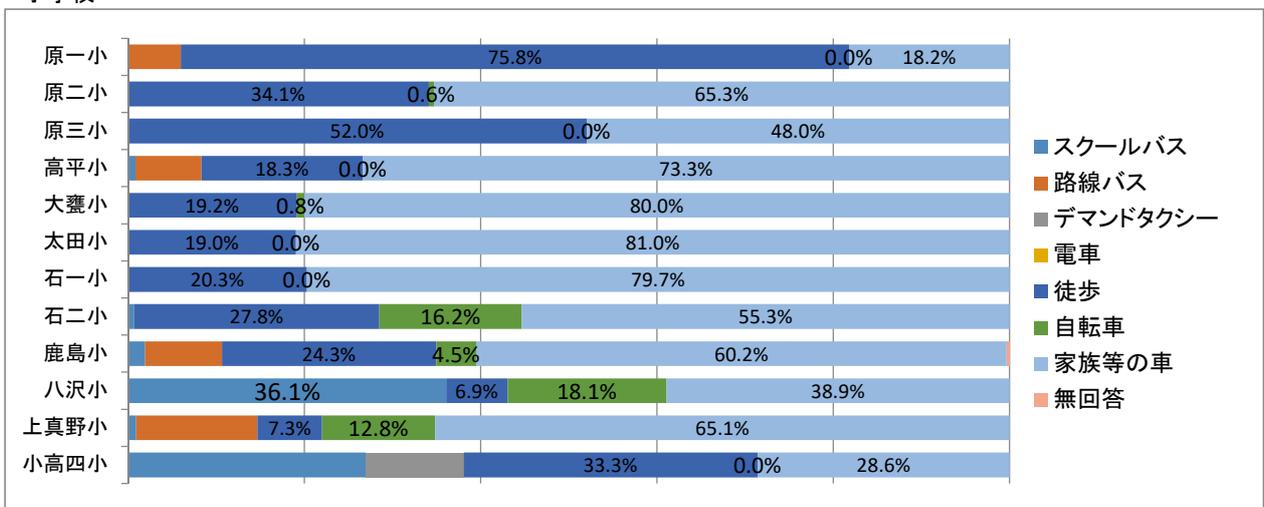
・通学方法の比率



最も多い割合を占める通学距離は、小学生で5割を超える児童が「家族等の車」、次いで「徒歩」が多くなっており、中学生は「自転車」、次いで「家族等の車」となっている。小中学生ともに「家族等の車」が顕著に多い。

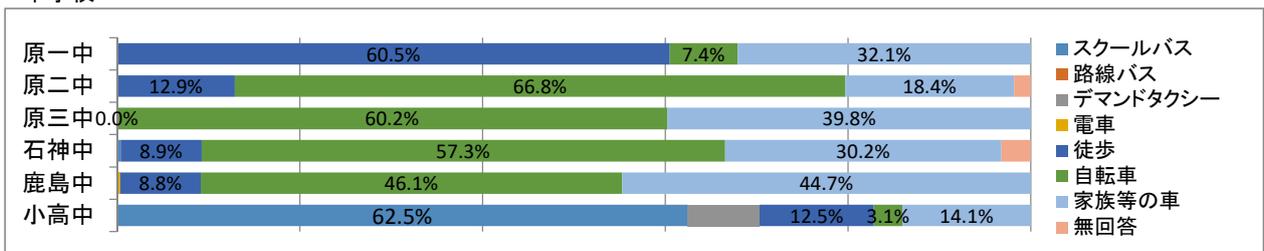
○学校別通学方法の比率

・小学校



小学校では、高平小、大甕小、大甕小、石一小が「家族等の車」で通学する児童が7割を超える。「家族等の車」が比較的少ない原一小は「徒歩」、八沢小は「スクールバス」の割合が多い。原一小では8割を超える児童が「徒歩」である。

・中学校

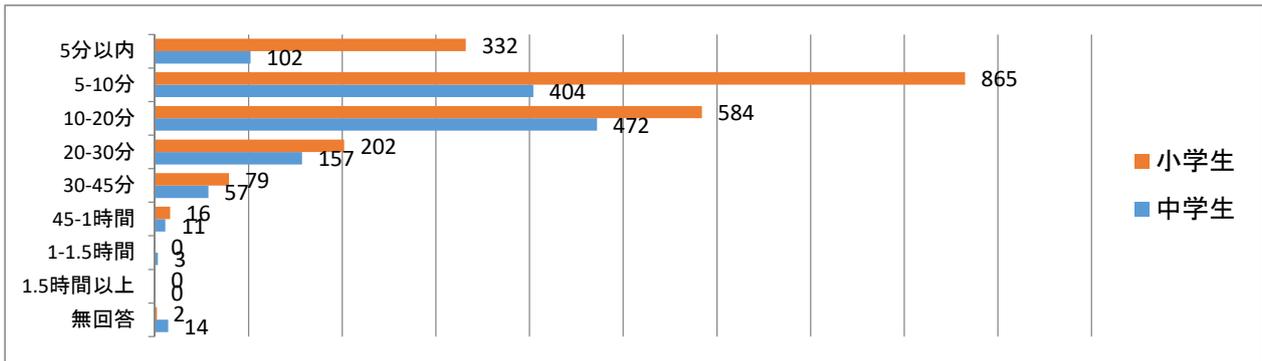


中学校では、原一小は「徒歩」、小高中は「スクールバス」、その他の学校は「自転車」が多い。「家族等の車」については、原二中と小高中が低いのに対して、原一中、原三中、石神中、鹿島中は3割を超えている。

《通学時間の状況》

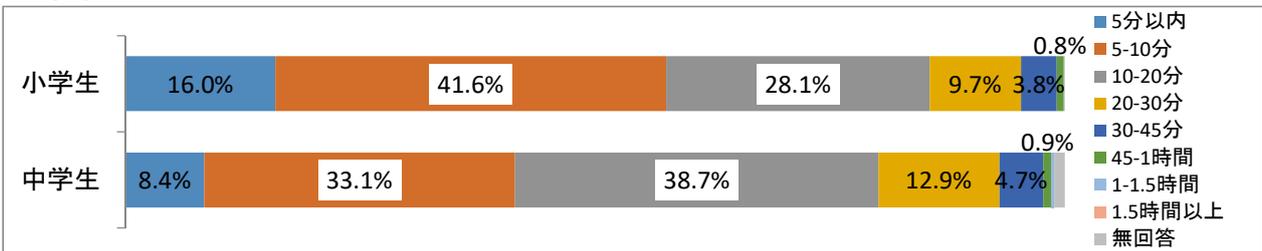
○小学校中学校別の通学時間

・通学時間及びその人数



最も多い通学時間は、小学生は「5～10分」、次いで「10～20分」である。中学生は「10～20分」、次いで「5～10分」となっている。(国が示す配置(通学時間)の基準が1時間以内であることを考慮すると、小学生は全員適正な通学時間となるが、1時間を超える中学生が3人いる。)

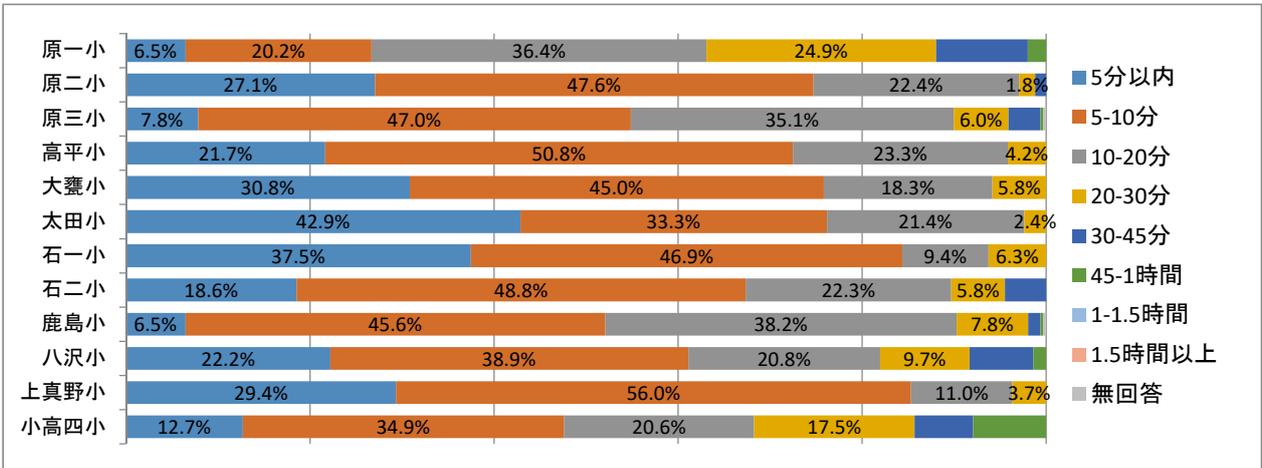
・通学時間の比率



最も多い割合を占める通学時間は、小学生で4割を超える児童が「5～10分」が最も多く、中学生で「10～20分」、次いで「5～10分」の順で多くなっている。

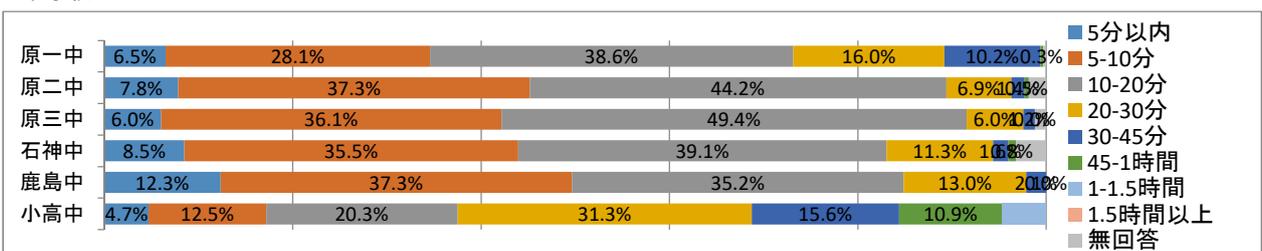
○学校別通学時間の比率

・小学校



小学生の通学時間は全員1時間以内。

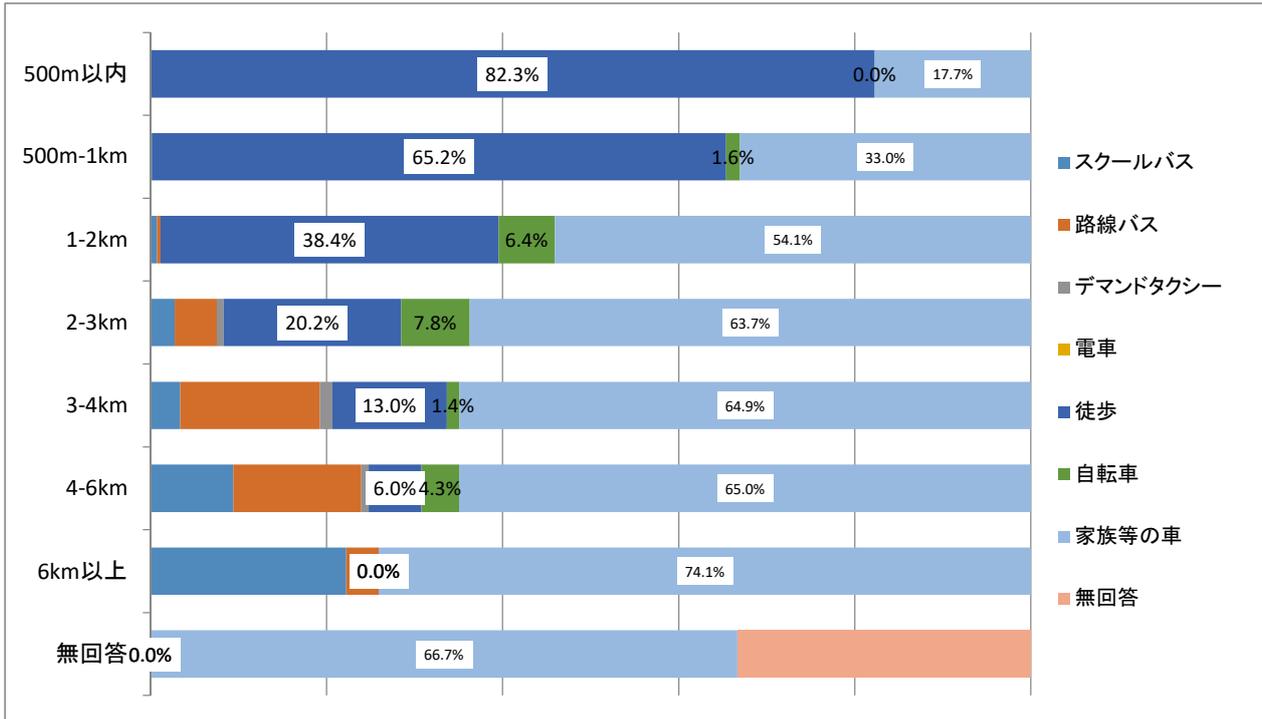
・中学校



中学生の通学時間は小高中の生徒3人を除いて、全員1時間以内。

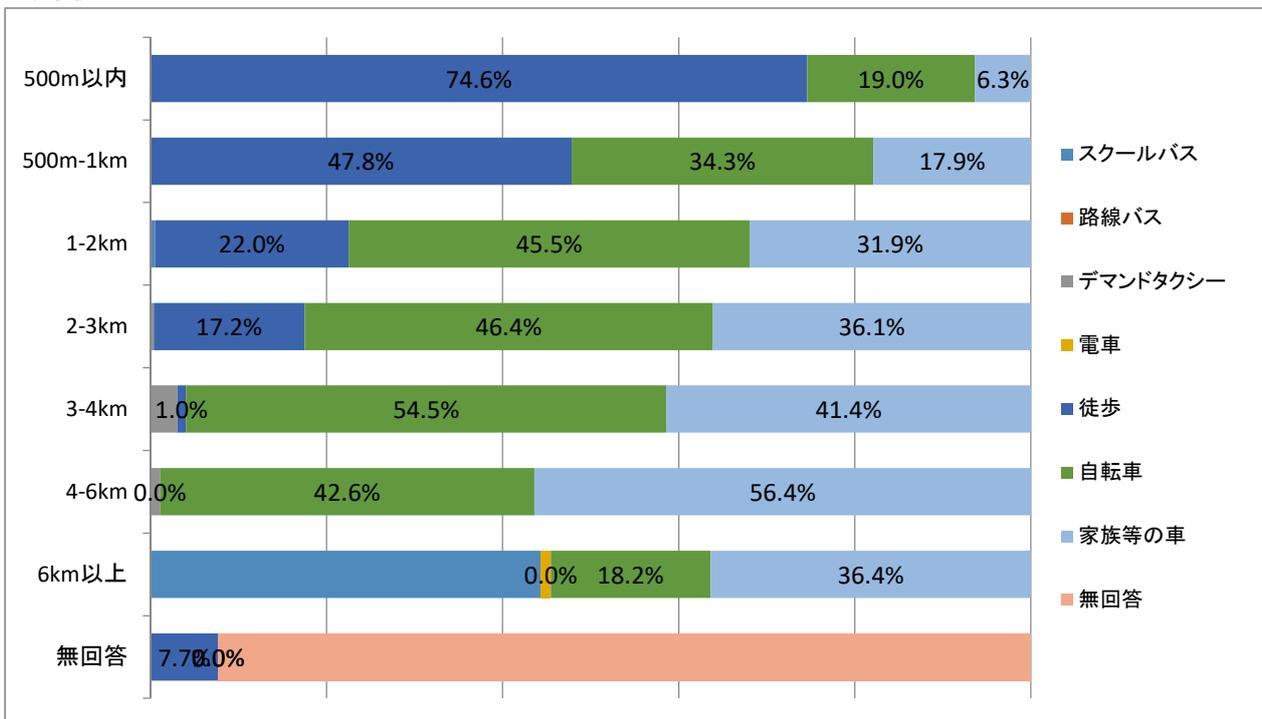
《 クロス集計(通学距離と通学方法) 》

・小学校



通学方法は、通学距離が短いほど「徒歩」が多く、長いほど「家族等の車」が多くなっている。また、通学距離が「1～2km」を超えると「家族等の車」は5割を超えている。

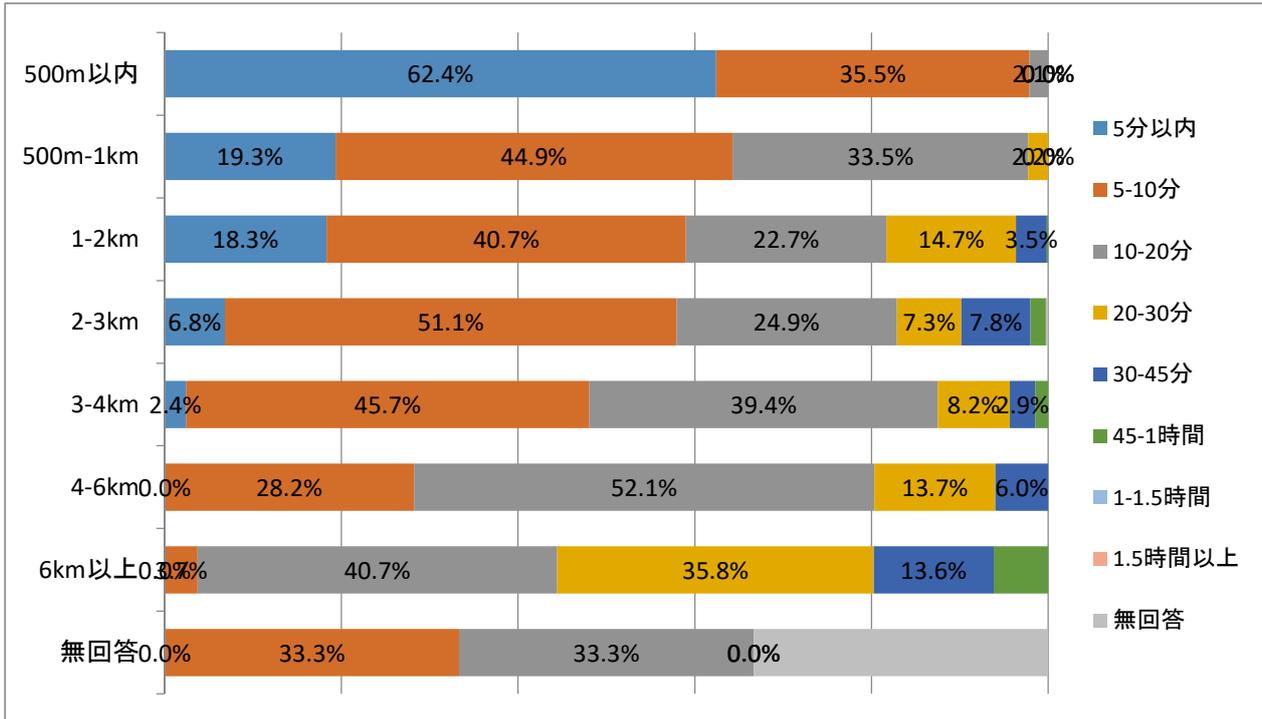
・中学校



通学方法は、通学距離が長くなるにつれて「徒歩」「自転車」「家族等の車」の順で多くなっている。

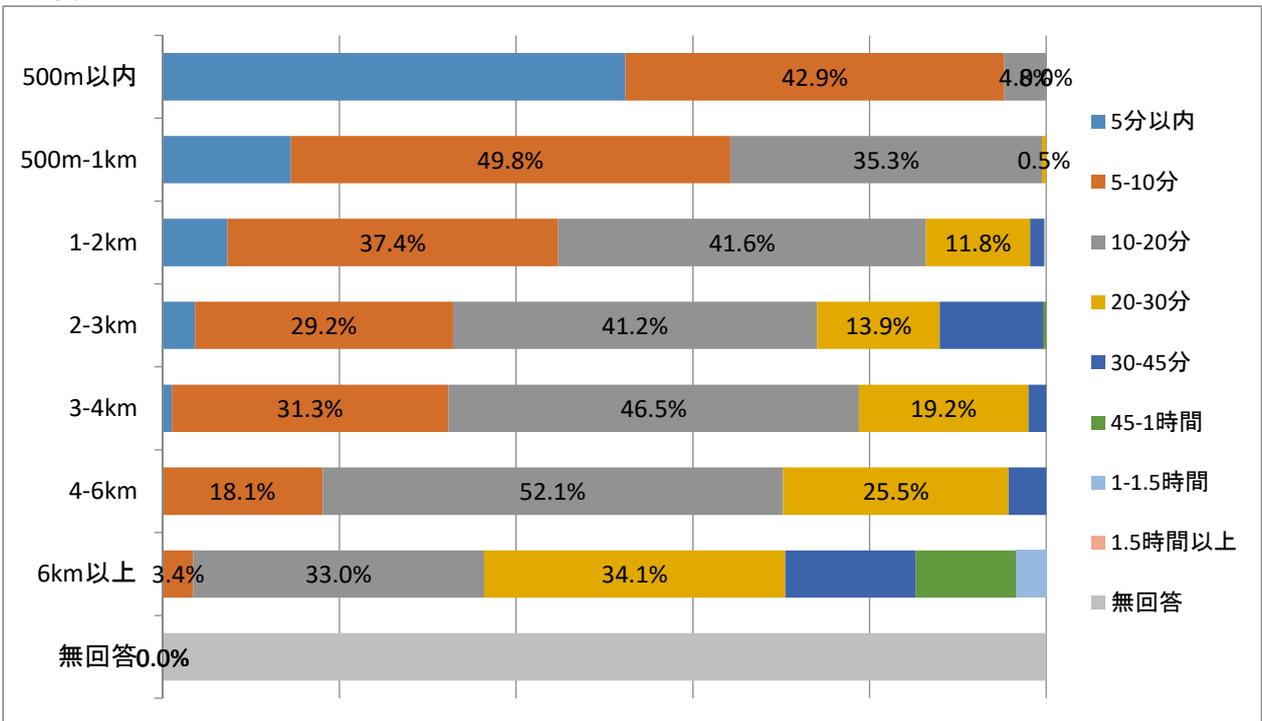
《 クロス集計(通学距離と通学時間) 》

・小学校



通学距離と通学時間は比例し、通学距離が長くなると通学時間も長くなる。

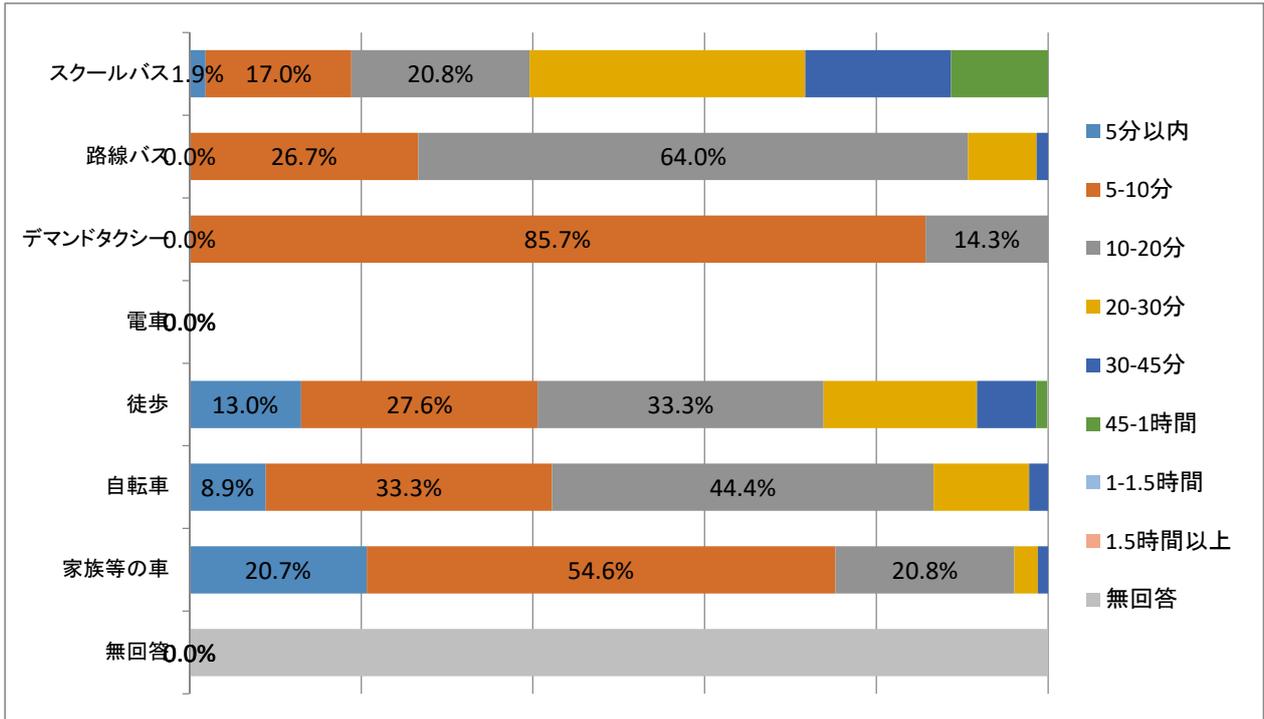
・中学校



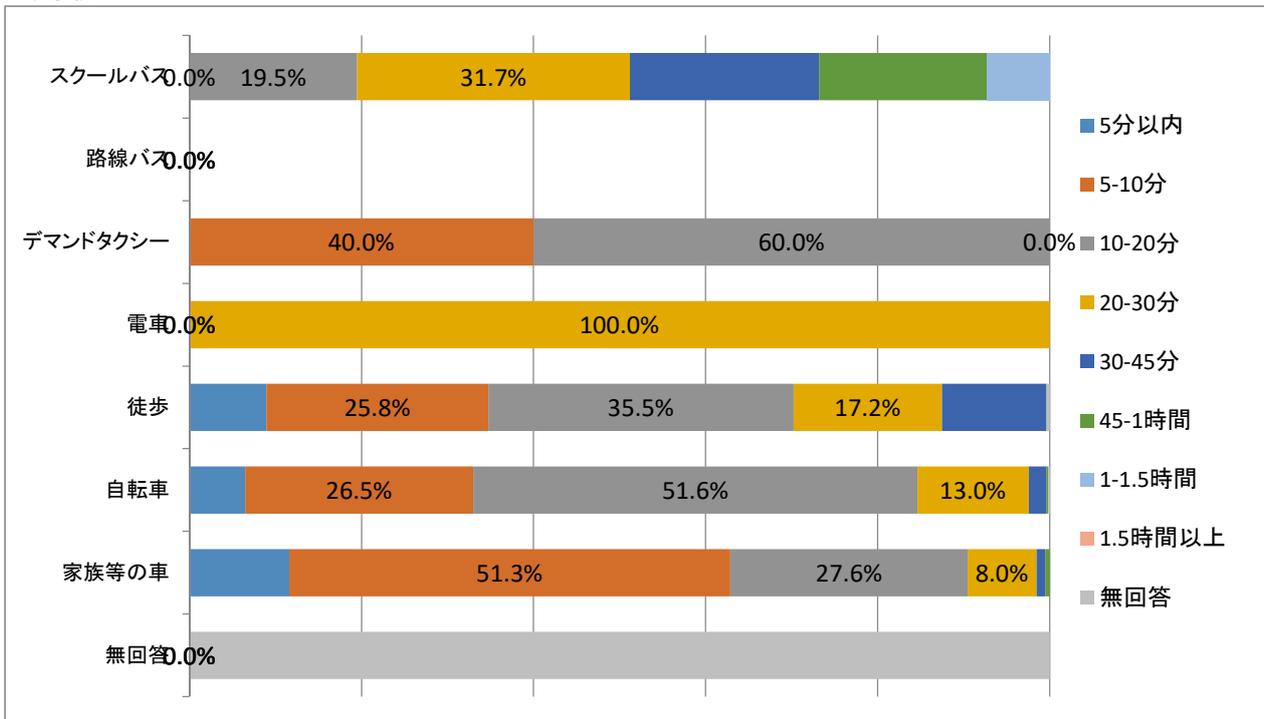
通学距離と通学時間は比例し、通学距離が長くなると通学時間も長くなる。

《 クロス集計(通学方法と通学時間) 》

・小学校



・中学校



市内小学校クラブ活動状況調査（平成29年度）

No.	学校名	児童数	学級数	クラブ数	クラブ規模			種 別								
					集団	少人数	個人									
1	原町一小	400	15	9	1	5	3	球技	科学	室内文化	遊びの研究	ミュージック	卓球バドミントン	漫画造形	手芸	パソコン
2	原町二小	168	7	4	2	1	1	運動	ダンス・ミュージック	科学	パソコン					
3	原町三小	330	13	8	1	5	2	レクリエーション	科学	卓球	料理手芸	屋外活動	屋内活動	イラスト読書	パソコン	
4	高平小	121	6	4	1	2	1	運動	室内ゲーム	家庭	図工					
5	大甕小	123	6	5	1	1	3	スポーツ	科学	パソコン	アート	手作り				
6	太田小	43	4	3	1	1	1	運動	ゲーム	ものづくり						
7	石神一小	63	5	3	1	2	0	スポーツ	卓球	手作り昔遊び						
8	石神二小	292	12	8	1	5	2	運動	科学工作	バドミントン・一輪車	手作り	卓球	囲碁・将棋	イラスト	パソコン	
9	鹿島小	368	15	8	1	5	2	球技	科学	調理	卓球	バドミントン	ペッパーパー	パソコン	イラスト工作	
10	八沢小	78	6	5	1	4	0	ボール運動	バドミントン	手芸工作	科学	音楽				
11	上真野小	110	6	4	1	1	2	運動	家庭	創作	パソコン					
12	小高4小	62	13	5	1	1	3	スポーツ	ゲーム	パソコン	イラスト	手作り				

<考察>

- ① 小高を除く各学年2学級以上の学校（原1、原3、石2、鹿島）はクラブ活動の種類も多く、児童の希望も叶いやすい。
- ② 運動・スポーツを集団の活動としているが、小さな学校と大きな学校では活動種目に違いがある。
- ③ 小さな学校では少人数や個人を中心とした活動にならざるを得ない。

特別活動の本来の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。」であるのに対し、個人活動でも集団活動に繋げることは可能ではあるが、小さな学校ではそれが叶いにくく、児童の希望も叶えにくいと考える。

市内中学校部活動状況調査（平成29年度）

No.	学校名	生徒数	学級数	部活数	運動部																文化部					
					軟式 野球	サッカー	バスケット		バレーボール		ソフトテニス		バドミントン		卓球		柔道		剣道		陸上	水泳	吹奏楽	PC	美術 文芸	文化 総合
							男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
1	原一中	342	11	18	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○				
2	原二中	238	9	11	△	○	○	○		○	○							○		○	○					
3	原三中	82	3	8	△						○	○	○		○		○	○		○		○				
4	石神中	252	9	14	○	○	○	○	○	○			○	○			○	○		○		○				
5	鹿島中	286	10	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○		○				
6	小高中	66	3	6		○	○	○		○	○												○			

<考察>

- ① 各学年3学級以上の学校（原1、原2、石神、鹿島）は部活動の種類も多く、生徒の希望も叶いやすい。
- ② 生徒数が多ければ部活動も多くなる傾向にあり、生徒数100人以下の学校では種目が限定される。

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、小さな学校では部活動の種類に限りがあるので、それが叶いにくいと考える。

区域外就学に係る申請理由

○小学校

No	希望小学校 と 区域外申請理由	原一小	原二小	原三小	高平小	大甕小	太田小	石一小	石二小	鹿島小	八沢小	上真野	小高小	福浦小	金房小	鳩原小	計	割合
11	途中の転居	34	9	14	6	5			13	7	1	5	5	1			100	31.5%
12	新築等、住居の転居予定	8	4	7		1		1	8	7	1						37	11.7%
13	転居後、再転居																0	0.0%
21	共働き：児童館利用		1														1	0.3%
22	共働き：祖父母の保護	20	11	15		5	1		2	2	1	1					58	18.3%
23	共働き：店舗、事務所に下校	6	3	3													12	3.8%
24	兄弟が区域外就学中	17	7	9	2	3			3	8	1		1		1		52	16.4%
31	病院等への通院																0	0.0%
32	特別支援学級入級										1						1	0.3%
34	養護施設・福祉施設への入所	2															2	0.6%
35	里親委託																0	0.0%
41	地理的理由：陣ヶ崎二（小）			4													4	1.3%
42	地理的理由：信田沢尼ヶ折（小）																0	0.0%
43	地理的理由：檜原字上萱（小）																0	0.0%
44	地理的理由：陣ヶ崎二（中）																0	0.0%
45	地理的理由：北原細谷地（中）																0	0.0%
46	地理的理由：萱浜六貫山（中）																0	0.0%
47	地理的理由：檜原字上萱（中）																0	0.0%
51	小学校で区域外就学中での中学校入学																0	0.0%
52	その他、生徒指導など	9	3	6	6	2			4	17	2	1					50	15.8%
	計	96	38	58	14	16	1	1	30	41	7	7	6	1	1	0	317	

○中学校

No	希望中学校 と 区域外申請理由	原一中	原二中	原三中	石神中	鹿島中	小高中	計	割合	全体	割合
11	途中の転居	4	4	2	10	3	5	28	22.8%	128	29.1%
12	新築等、住居の転居予定	3			1	1		5	4.1%	42	9.5%
13	転居後、再転居							0	0.0%	0	0.0%
21	共働き：児童館利用							0	0.0%	1	0.2%
22	共働き：祖父母の保護							0	0.0%	58	13.2%
23	共働き：店舗、事務所に下校							0	0.0%	12	2.7%
24	兄弟が区域外就学中	6	3		2			11	8.9%	63	14.3%
31	病院等への通院							0	0.0%	0	0.0%
32	特別支援学級入級			1				1	0.8%	2	0.5%
34	養護施設・福祉施設への入所							0	0.0%	2	0.5%
35	里親委託							0	0.0%	0	0.0%
41	地理的理由：陣ヶ崎二（小）							0	0.0%	4	0.9%
42	地理的理由：信田沢尼ヶ折（小）							0	0.0%	0	0.0%
43	地理的理由：檜原字上萱（小）							0	0.0%	0	0.0%
44	地理的理由：陣ヶ崎二（中）	1						1	0.8%	1	0.2%
45	地理的理由：北原細谷地（中）			1				1	0.8%	1	0.2%
46	地理的理由：萱浜六貫山（中）							0	0.0%	0	0.0%
47	地理的理由：檜原字上萱（中）							0	0.0%	0	0.0%
51	小学校で区域外就学中での中学校入学	21	10	4	3	3		41	33.3%	41	9.3%
52	その他、生徒指導など	6	13	0	4	7	5	35	28.5%	85	19.3%
	計	41	30	8	20	14	10	123		440	